

1. 件名：「泊発電所3号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（177）」

2. 日時：令和5年12月20日(水) 16時30分～19時40分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与

北海道電力株式会社：松村執行役員 他10名

(このうち1名はテレビ会議システムによる出席)

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・泊発電所3号炉 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価について（地殻変動による基礎地盤の変形の影響評価）

<<本年12月8日に受取済み>>

- ・泊発電所3号炉 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価について
- ・泊発電所3号炉 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価について（補足説明資料）

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	原子力規制庁谷です。ヒアリングを始めたいと思います。今日の案件としては泊発電所耐震重要施設及び重常設重大事故等対処施設の
0:00:14	基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価についてと、
0:00:18	ということで、本編と補足資料が12月8日版で、今日、今日の
0:00:25	先ほど来の、
0:00:27	地殻変動による基礎地盤の変形の影響評価という追加資料があると、
0:00:39	ということなので、前回からこう関わったところだけ簡潔にですね、
0:00:39	説明していただけたらと思いますよろしくお願いします。
0:00:43	はい。北海道電力松村です。ヒアリングよろしくお願いします。今、谷さんからありました通り基礎地盤。
0:00:50	及び周辺斜面の安定性評価についてということで、
0:00:55	資料ちょっと分冊になって申し訳ないですけど説明いたします。
0:00:59	説明はハットリからでポイントを絞って説明させていただきますよろしくお願いします。
0:01:04	北海道電力の服部です。
0:01:06	基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価について、前回のヒアリング資料からの修正内容を中心に説明させていただきます。
0:01:13	資料は本編資料、補足説明資料、
0:01:16	そして本編資料5章に掲載しております地殻変動による基礎地盤の変形の影響評価に関する資料の三部構成となります。
0:01:24	まず初めに本編資料から説明させていただきます。
0:01:27	2ページ、3ページを見開きでお願いいたします。
0:01:34	三平木下、3ページには、今回説明範囲を示してございます。
0:01:38	3ページの黄色はこの記載となりますが、基礎地盤及び周辺斜面の安定性については、新設防潮てに関係しない断面の評価結果と、
0:01:46	新設防潮庭を含む断面の評価結果を分けて説明し、今回の説明範囲が、新設防潮に関係しない断面の評価結果の内容であることを記載してございます。
0:01:56	そのため、説明範囲外となる新設防潮て含む断面の評価結果については、
0:02:01	説明資料も含め、記載が必要な内容を削除してございます。
0:02:06	なお、12月8日に提出しております本資料、本編資料におきましては、
0:02:10	5章の地殻変動による基礎地盤の変形の影響評価については、今後説明予定としていましたが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:17	基準津波の審議結果を踏まえた説明を行うため、色結果が変更となる可能性はございますが、別冊にて、取りまとめた評価結果をご説明させていただきます。
0:02:26	5 ページ、お願いいたします。
0:02:31	続いて、一生全体概要のうち評価方針についてご説明させていただきます。6 ページ 7 ページ見開きでお願いいたします。
0:02:41	変更となった部分でございますが、下の見開き下、7 ページの表でございます。
0:02:47	設置許可基準規則の確認内容、設計方針を表でまとめてございますが、そのうち、第三条、第 2 項及び第 38 条第 2 項の確認内容、設計方針につきましては、
0:02:59	条文適合方針として、周辺地盤の変状の影響を考慮した場合においても、その安全機能が損なわれる恐れがないように設定する方針であることがわかるよう記載を追加してございます。
0:03:10	23 ページお願いいたし。
0:03:17	続いて 3 章、地震力に対する基礎地盤の安定性について説明いたします。32 ページ 33 ページ、お願いいたします。
0:03:30	32 ページからは、液状化影響を考慮した滑り安定性消化についての資料になってございます。
0:03:36	前回資料では、液状化範囲の確認結果と、その結果を踏まえた液状化評価を考慮した滑り安全率の算定方法を、それぞれ離れたページに個別に記載していましたが、
0:03:46	MSの観点から、32 ページから 34 ページを一括掲載するよう、資料構成を見直してございます。
0:03:52	36 ページお願いいたします。
0:03:59	続いて、代表施設の選定についてです。
0:04:03	グループ化グループCの分類分け、そして、各グループに分類される施設に変更はございませんが、代表施設選定までの考え方を見直しでございます。
0:04:12	前回ヒアリング資料では、グループA及びグループBの代表施設の選定については、基礎地盤安定性評価の影響要因の整理、
0:04:20	泊発電所の特徴を踏まえた影響要因を見つけ、
0:04:24	その重みづけを考慮した代表施設選定フローによる代表施設の選定というように、複数のステップを踏んだ、成立していましたが、今回資料におきましては、簡潔に、代表施設を選定する流れとなるよう、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:36	泊発電所 3 号炉における評価対象施設の特徴を考慮した影響要因から代表施設を選定する方針に見直しでございます
0:04:44	39 ページお願いいたします。
0:04:50	続いて、基礎地盤安定性評価における地中構造物の扱いについてです。
0:04:55	追求した内容は、後丸目黄色はこの 5 マル目以降の内容となりますが、
0:05:00	地中構造物に関する液状化ニイツの影響についても、周辺地盤が液状化した場合、構造物に作用する側圧が大きくなり、構造物を介して基礎地盤に作用する滑動力に影響する可能性があるものの、
0:05:13	中構造物自体の重量が小さいことなどから、基礎地盤安定性評価上大きな影響はないものと考えております。
0:05:19	なおその影響評価については、注釈に記載の通り、別途確認した結果を今後ご説明させていただきます。
0:05:25	続いて、40 ページ 41 ページ見開きでお願いいたします。
0:05:34	影響要因の整理についてです。
0:05:37	見開き下、41 ページには、影響要因の整理結果を表形式で整理してございます。
0:05:42	表の左列には、抽出した要因を示してございますが、そのうち、施設の重量、施設の設置面積
0:05:49	断層の分布については、評価対象施設の特徴の観点において、それぞれ影響要因として選定してございます。
0:05:58	提供して抽出した影響要因より、グループA及びグループBの代表施設を選定した結果を続いてご説明させていただきます。
0:06:05	42 ページお願いいたします。
0:06:11	42 ページには、防潮堤以外で、10 メーター盤に位置する施設であるグループへの代表施設の選定結果についてまとめてございます。
0:06:20	グループにおきましては、施設の重量が最大であること、施設の設置面積が最大であること。
0:06:26	節の下方にF11 断層が分布していることから、原子炉建屋を代表施設に選定してございます。
0:06:32	続いて 47 ページお願いいたします。
0:06:39	ついて、防潮堤外で 10 メーター盤より高標高に位置する施設である。グループBの代表施設の選定結果についてです。
0:06:46	ルーピーグループBにおきましては、施設の重量が最大であること

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:50	の設置面積が最大最大であることから、緊急時対策所代表施設に選定してございます。
0:06:56	続いて、解析用物性値についてご説明いたします。56 ページ、お願いいたします。
0:07:06	続いて、解析用物性値の考え方についてです。
0:07:13	駅、ないように解析用物性値につきましては、今回前回資料では、
0:07:20	集積層に相当する須賀層である、エスワン及びエースⅡ、そして粘土シルト層であるAc及びMIS5eより古い階層層であるDSの解析用物性値についても掲載してございましたが、
0:07:32	今回、資料に掲載する解析用物性値というのは、新設防潮てに関係しない断面の評価結果で使用する解析を物性値のみ掲載したことから、
0:07:41	前年、ご説明させていただいた物質については、掲載を取り止めてございます。
0:07:46	続いて、62 ページ、63 ページ見開きでお願いいたします。
0:07:56	62 ページには、1 号炉解析を物性値のうち、12 号炉超過から変更となった解析用物性値の変更内容について説明、記載してございます。
0:08:06	変更となった解析用物性値については、前回資料から変更ございませんが、変更した考え方がわかるよう記載の充実化を図っております。
0:08:15	解析用物性値を変更した大きな考え方については、変更理由へと変更理由Bの二つに分けて整理してございます。
0:08:23	火砕岩類B級及びD級の強度特性の変更理由は、変更理由
0:08:28	として河西がE級の強度特性及び火砕岩類、EQ及び1人コウ表土の動的変形特性の変更理由は、それぞれ変更理由Bに該当しているといったところで整理してございます。
0:08:40	続いて、90 ページ、91 ページ、お願いいた
0:08:54	として評価対象断面の岩盤分類図及び解析を要素分割についてご説明いたします。
0:09:01	評価対象断面の岩盤分類図に示す建屋形状については、タテの位置関係を示すために描画しているものであり、建屋形状の変更が、解析から影響を与えるものではございませんが、
0:09:12	現況の建屋形状を内包する形で、砂化することを基本ルールとし、一部の、建屋形状の図を適正化してございます。
0:09:22	解析用物性値につきましては、カセカセ解析用要素分割につきましては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:27	解析用要素分割に示す、建屋の形状及び基礎底面形状について、岩盤分類図と形状が差異があるものについては、その理由を注釈に追記してる、してございます。
0:09:38	その変更内容等は 90 ページから 94、93 ページにかけてへ注釈等、変更等を行っているところでございます
0:09:48	続いて 126 ページお願いいたします。
0:09:58	続いて基礎地盤の安定性評価のうち滑り安定性の評価結果についてです。
0:10:03	前回資料では、Y断面の基礎地盤については、No.1 からNo.5 の滑り面形状を評価結果に掲載していましたが、今回、周辺斜面の滑りとしてもともと掲載していた。
0:10:15	滑り面形状、No.6No.64 についても、
0:10:19	底面下方通る滑り面であることから、基礎地盤の滑りとしても取り扱うこととし、基礎地盤の評価結果においても、滑り安全率の算定結果を追加してございます。
0:10:28	その結果でございますが、動的解析における最小滑り安全率を示す滑り面形状については、
0:10:35	127 ページに示す通り、ナンバー1 からナンバー6 と変更になりましたが、No.6 の最小滑り安全率は 2.0、ばらつきを考慮しても 1.7、静的線形解析においても 2.3 と、
0:10:47	いずれも評価基準値 1.5 を満足してることを確認してございます。
0:10:52	また、補足説明資料 3 の 3 章に示す応力状態を考慮した滑り面の検討。
0:10:57	同じく補足説明資料 3 の 5 章に示す静的線形解析の結果におきましても、それぞれ最小滑り安全率を示す滑り面となった滑り面形状ナンバー 6 の解析結果に変更してございます。
0:11:10	141 ページ、お願いいたします。
0:11:20	続いて 4 章、周辺地盤の変状による施設への影響評価のうち、評価方針についてご説明いたします。142 ページお願いいたします。
0:11:32	変状による施設の施設への影響評価についてですが、黄色はこの 3 マル目の記載の通り、評価方針として、耐震重要施設及び常設重大事故等対象施設については、
0:11:43	施設の詳細設計段階において、液状化、揺すり込み沈下等の周辺地盤の変状の影響を考慮した場合においても、その安全機能が損なわれる恐れがないように設計する旨を追記してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:54	149 ページお願いいたします。
0:12:00	続いて 6 章、周辺斜面の安定性評価についてご説明いたします。157 ページ、お願いいたします。
0:12:12	周辺斜面の抽出についてです。
0:12:14	抽出した周辺斜面については、前回資料から変更はございませんが、黄色はこの 3 枚目に記載しておりますが、
0:12:21	図に記載しております、黒破線部に示す通り、抽出した周辺斜面に背後には、斜面の分布していますが、当該斜面は斜面高さ 10 メーター程度の小規模な斜面であり、
0:12:33	周辺斜面に対して、所定の離隔を有することから、周辺斜面としては取り扱っていないものの、簡便法及び動的解析においては、背後の地形や断層の分布を考慮して、
0:12:43	背後に分布する当該斜面も含めてモデル化することとしています。
0:12:47	162 ページお願いいたします。
0:12:57	続いて、原子炉建屋等周辺斜面の評価対象断面の選定についてです。
0:13:02	見開き下の 163 ページ左下図の緑ハッチング箇所を示す斜面位置においては、検討断面としてはイワイ断面を選定してございますが、当該断面につきましては、
0:13:13	斜面位置内に F11 断層が分布していることを踏まえても、断面選定値が妥当である B を追記してございます。
0:13:21	追記した理由の内容につきましては、60、162 ページの黄色箱、中段のなお書き以降の記載になりますが、
0:13:28	斜面位置内には F11 断層が分布しており、当該斜面に対して斜交する位置関係であることから、Y 断面よりも北西方向の断面を設定した場合、F11 断層の分布位置は相対的に浅くなりますが、
0:13:40	当該斜面範囲において、地質地質構造は同様であることから、断面位置の選定における F11 断層の分布位置の影響は小さいものと考えてございます。
0:13:49	さらに、妥当性の確認として、相対的に F11 断層が浅く分布する断面と Y 断面の比較のため、動的解析による確認も行っております。
0:13:58	180 ページ、181 ページ、お願いいたします。
0:14:06	80 ページ、181 ページは、今申し上げた妥当性確認の結果を示してございます。
0:14:12	180 ページの黄色箱 3 マル目以降、
0:14:17	申し訳ありません。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:20	じゃ、相対的にF11 が浅く分布する断面である。YF断面とY断面における動的改正における滑り安全率の比較結果を 100、180 ページ 181 ページを通して示してございます。
0:14:33	180 ページの図には、YF断面とY断面の断面位置図と、岩盤分類図をそれぞれ示してございます。
0:14:39	次はこの 3 枚目以降ニワはF断面の解析条件を記載してございますが、
0:14:44	滑り安全率を比較滑り面は、Y断面において最小滑り安全率を示す地方からF11 断層を通り、斜面津波斜面ノジリにおけるセグメントしており、
0:14:54	動的解析に用いた基準地震動は、Y断面において最小滑り安全率を示すSs3-4としてございます。
0:15:01	動的解析の結果は 181 ページに示してございます。
0:15:05	表の左側がはif断面の結果となりますが、F断面の最小滑り安全率は 1.6 であり、Y断面と同程度であることから、動的解析による比較においてもF11 断層の分布位置の影響はなく、
0:15:17	Y断面の設定値が妥当であることを確認してございます。
0:15:21	戻りまして、174 ページをお願いいたします。
0:15:30	174 ページには、滑りの設定方法に関する記載ございますが、
0:15:35	そのうち断面を通る滑り面の設定のうち、固定点の設定の考え方を記載していますが、このうち、応力が集中しやすい斜面の理念について、斜面ノジリ付近の固定点の設定状況が明確となるよう、
0:15:47	注釈を追記し拡大図を追加してございます。
0:15:50	176 ページをお願いいたします。
0:15:56	176 ページには、Y断面の滑り面設定において、固定点としている斜面の理事の扱いについて記載してございます。
0:16:04	平子のフタミ目以降の記載となりますが、Y断面における斜面の理事は、実際には、左下の岩盤分類図に示す通り、TP6.3 メーターに位置し、
0:16:14	原子炉建屋基礎さんとは離隔を有してございます。
0:16:17	一方、解析上は、右下図の解析用分、要素分割に示す通り、
0:16:22	低迷を一律TP2.8 メーターとし、斜面のいずれについても、標高TP2.8 メーターとすることで、
0:16:29	斜面の理事を、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:30	木曾さんと同一としてモデル化していますが、当該固定点をすべて通る滑り面、滑りについては、
0:16:36	斜面の理事に抜ける滑り面として取り扱ってございます
0:16:40	登録資料の本編資料の説明は以上となります。続いて、本、補足説明資料について説明させていただきます。
0:16:58	続いて補足説明資料についてご説明させていただきます。
0:17:03	132 ページをお願いいたします。
0:17:14	132 ページには、Y断面の周辺斜面の要素ごとの安全係数図をお示ししてございます。
0:17:20	当該断面においても、他の断面と同様、設定した滑り面が、滑り安全率の厳しい滑り弁となっていることを確認してございますが、原子炉建屋背後のTP32.8 円盤付近に、
0:17:32	局所的ではありますが、
0:17:34	図のピンクのハッチングで、示す箇所、
0:17:37	これ応力が予想発生してる要素が分布していることから、当該要素を通る滑り面についても、滑り安全率を算定してございます。
0:17:45	当該滑り面の解析解析結果についてご説明いたします。136 ページをお願いいたします。
0:17:57	当該要素通る滑り面の解析結果についてご説明いたします。
0:18:01	当該要素を通る滑り面図で言うところの滑り面②になりますが、そちらについては、下図に示す最小滑り安全率を示す滑り面、滑り面①における、
0:18:12	最小滑り安全率発生時刻の応力状態において、滑り安全率は 37.1
0:18:18	また、すべて時刻歴の最小滑り安全率を見に行っても、1.69 であり、それぞれ評価基準値 1.2 を回ることを確認してございます。
0:18:26	続いて、変更内容として、
0:18:31	211 ページをお願いいたします。
0:18:42	4 章、設計地下水の設定方針に対する、関する補足になります。212 ページをお願いいたします
0:18:53	その、212 ページの内容でございますが、ともに 3 号炉における設計地下水の基本的な考え方をわかるように 112 ページから 217 ページにかけて、プラント側審査において説明した。
0:19:05	泊発電所 3 号炉地震による損傷の防止の資料を抜粋して再掲してございます。
0:19:11	内容の詳細については説明割愛させていただきます

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:14	説明資料の説明は以上となります。
0:19:16	最後に、地殻変動による基礎地盤の変形の影響評価についてご説明させていただきます。
0:19:28	資料が一番薄い資料となります。
0:19:30	こちら、内容をご説明させていただきます。
0:19:32	2 ページ 3 ページを見開きでお願いいたします。
0:19:39	3 ページには、本資料の目次を示してございます。
0:19:43	先ほど申し上げた通り、こちら、こちらの地殻変動による基礎地盤の変形の影響評価については、基準津波の審議結果を踏まえた説明を行うため、評価結果が変更となる可能性があります。
0:19:54	ホシノにて、取りまとめた評価結果をご説明させていただきます。
0:19:57	4 ページ、5 ページをお願いいたします。
0:20:04	見開き上 4 ページには評価方針、三浦木下、5 ページには評価方法を示してございます。
0:20:09	評価方針及び評価方法の記載については、本編資料の記載内容から変更はございませんが、5.3 章に評価結果を追加したことに伴い、一部記載の適正化を行ってございます。
0:20:21	今日はこの記載すべて読み上げることはしませんが要点だけご説明させていただきます。
0:20:27	地殻変動による基礎地盤の変形の影響評価について、審査ガイドに準拠し、地震発生に伴う地殻変動による基礎地盤の傾斜及び撓みにより、耐震重要施設及び常設重大事故等対象する
0:20:39	とか、ユーザーが影響を受けないことを確認いたします。
0:20:43	その確認内容として、地殻変動による基礎底面の傾斜は、地殻変動解析から求める、
0:20:50	地盤の変位により算出し、
0:20:52	各変動解析から求める基礎底面の最大傾斜に、地震応答解析から求められる基礎底面の最大傾斜を重ねず、重ね合わせた傾斜が評価基準値の目安である 1000 分の 1 を超えないことを確認いたします。
0:21:05	こちらの評価につきましては、
0:21:08	3 章の基礎地盤の安定性評価において、代表施設、
0:21:11	選定した原子炉建屋、緊急時対策所等を対象に実施いたします。
0:21:18	また、地震応答解析から求められる。
0:21:21	底面の最大傾斜につきましては、敷地ごとに震源を特定して策定する。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:26	地震動による基準地震動による地震応答解析結果を持ち、用いることとしてございます。
0:21:31	続いて、評価方法について説明いたします。
0:21:34	宮木下 5 ページ、お願いいたします。
0:21:40	評価方法についてです。
0:21:42	各変動解析については、
0:21:45	地ごとに震源を特定して策定する。
0:21:47	地震導入の基準、基準時
0:21:49	の策定において、検討用地震像として選定しております。C別が断層
0:21:55	F10 断層から、岩内堆東撓曲から岩内堆
0:21:59	コバヤシ
0:22:00	不備断層
0:22:01	及び積丹半島北西木野断層に対して解析を実施しており
0:22:07	各断層の断層断層パラメータについては、地震動評価の断層パラメータ及び津波評価の断層パラメータを、
0:22:14	上、
0:22:15	各変動量の観点から保守的な評価となる断層パラメータを、
0:22:19	変動解析に用いることとしており
0:22:22	なお、津波評価の断層パラメータについては、海域活断層に想定される
0:22:27	地震に伴う津波の、
0:22:28	水位上昇最大係数及び追加補最大ケースとなる断層パラメータを用いて、
0:22:33	なお海域活断層に想定される地震に伴う津波が審議中であるため、断層パラメータ等の変更が生じた場合は改めてご説明させて
0:22:42	いただきまして 6 ページお願いいたします。
0:22:50	続いて、地震動評価の断層パラメータ及び津波評価の断層パラメータの比較結果についてです。
0:22:57	断層パラメータの比較にあたっては滑り量が大きいほど、地殻変動量は大きくなると考えられることから、滑り量に滑り量に着目することとしています。
0:23:07	滑り量を比較した結果、こちら、6 ページ、7 ページの表にお示している通り、
0:23:12	いずれの断層においても、津波評価の断層パラメータのほうが滑り量が大きいことから、津波による津波評価の断層パラメータを選定してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:20	なお、尻別川断層につきましては、地震動評価の断層パラメータのみであることから、地震動評価のプラスをパラメータを地殻変動解析に用いることとしてございます。
0:23:31	めくっていただきまして8ページ、お願いいたします。
0:23:39	2ページには断層パラメータの比較結果等から整理した、地殻変動解析に用いる断層パラメータを表で示してござい
0:23:47	続いて10ページ、お願いいたします。
0:23:53	10ページから15ページにかけて、
0:23:56	各断層の地殻変動解析結果として、鉛直変位を図で示してございます。
0:24:02	説明、また割愛させていただきます。16ページお願いいたします。
0:24:14	続いて地殻変動解析による傾斜算出結果についてご説明いたします。
0:24:20	16ページには、地殻変動解析による原子炉建屋の件、傾斜算出結果を、17ページには、緊急時対策所の
0:24:28	傾斜算出結果をそれぞれ示してございます。
0:24:31	地殻変動解析による断層ごとの最大傾斜については、表中、赤ハッチングで示してございます。
0:24:37	続いて、18ページ、19ページ、見開きでお願いいたします。
0:24:46	18ページ、19ページには、地震応答解析による傾斜算出結果について、
0:24:51	記載してございます。
0:24:52	18ページには、地震応答解析による原子炉建屋における傾斜算出結果を、
0:24:57	19ページには、緊急時対策所における検査傾斜算出結果をそれぞれ示してございます。
0:25:03	地震応答解析による最大傾斜については、表中青ハッチングで示す通り、
0:25:08	地震応答解析から求められる現象建屋基礎底面の最大傾斜は2万4000分の1
0:25:14	緊急時対策所基礎底面の最大傾斜は3万9000分の1となります。
0:25:19	最後に見開き、20ページ、21ページをお願いいたします。
0:25:28	20ページ、21ページには、地殻変動及び地震動を考慮した最大傾斜の評価結果についてお示してございます。
0:25:36	これまでご説明してきた地殻変動解析による最大傾斜と、地震応答解析による最大傾斜を重ね合わせた結果を示してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:43	最大傾斜の重ね合わせの結果、原子炉建屋及び緊急時対策所の地殻変動解析による最大傾斜
0:25:50	と、
0:25:51	仕事解析には最大傾斜を
0:25:53	重ね合わせた傾斜は、評価基準値の目安である 2000 分の 1 を下回ることを確認してございます。
0:25:59	今回のヒアリング資料の説明は以上となります。
0:26:04	規制庁タカギ説明ありがとうございました
0:26:07	確認に入っていきたいんですけども、
0:26:10	ちょっと私の方から最初に、
0:26:13	資料の構成っていうのを確認したいんですけども。
0:26:20	会合にかかる資料として今、出てるんですけども、
0:26:26	ソネ 30。
0:26:28	4 ページ。
0:26:29	だったかな、何か今後説明するみたいなことが、
0:26:34	ここじゃないのか、ここですよ、有効力解析の話は、今後説明予定だとか、
0:26:41	39 ページにも、
0:26:44	液状化の影響が、地中構造物の基礎地盤安定性評価上大きな影響がないと考えられることについては今後、別途確認し今後説明を、
0:26:54	これは会合にはもうつけないけれども、
0:26:57	その次の会合でこういう説明をするってことでいいんですか。
0:27:01	はい。北海道電力の瀬川です。谷さんの、
0:27:06	おっしゃられた通りですね今回ご説明してる内容の、
0:27:10	範囲では説明せず、防潮てに関係する断面の評価、
0:27:14	の際に説明させていただく考えでございます。
0:27:20	荒谷です。その頃あれなんですかねこれは
0:27:25	ほぼ念のため確認するようなもので今のこの 39 ページと書いてるもので、今の評価としては十分なんだとかそういう考えがあっ。
0:27:36	これが、これが確認できないと、我々は妥当性を確認できないことになるのかならないのかっていうのを、僕ら判断するんですけど、
0:27:47	北海道電力の考えとしては、これがなくっても、
0:27:51	ここが基準に適合し、してるかしてないかっていう判断はできるだろうっていう、そういう考えで、
0:27:58	資料作ってるってことなんですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:03	はい。北海道電力の瀬川です。
0:28:06	ご認識の
0:28:07	通りでして、こちらについては解析
0:28:11	我々の方で、いずれも液状化に関する
0:28:15	解析が、後になって、
0:28:18	説明することになるんですけども、位置付けとしましては、
0:28:23	妥当性を確認する位置付けで、解析で定量的に説明を補う、そういった位置付けで考えてございますので、こちらの考えがひっくり返るようなことはないという、
0:28:34	というような判断をしてこういった取りまとめをしております。以上です。はい。はい、谷です。わかりましたというか、
0:28:41	ちょっと会合の資料のイメージをちょっと掴みたくて確認してるんで、
0:28:45	この今日の日付の資料が、
0:28:50	5 ポツに、これはあれなんですかなんかいろいろ、
0:28:56	本筋と、
0:28:59	いやなんか結構細かく解析もされてるけどこれがこのまんま、
0:29:03	5 ポツに入ってくるってことなんを考えてるんですか。
0:29:07	はい。北海道電力の瀬川です。今回別資料として、形で取りまとめさせていただきましたが、会合資料としましては本編資料の交渉にですね組み込んで一式まとめた形で提出させていただきたいというふうに考えてございます。
0:29:23	以上です
0:29:35	じゃあ、これは今のところはそうそのままつくってということなだけで本編でね必要なことは何なのかとかいうのもよく考えてもらって整理していただけたら、
0:29:47	いいかなと思います。今ところは、その資料構成としては、
0:29:52	そうするつもりだっていうのがわかりまし
0:29:55	で続いて話変わるんですけども、なんかね最初に、基準との関係みたいなのがこう書かれるわけですよ 6 ページ 7 ページ
0:30:06	これはね、ガイドでいう等、
0:30:11	変位もこれ入ってますよね。
0:30:14	最初に変位、
0:30:16	次、
0:30:19	うん。その辺はこれには書いて今ないから、今書いてないですよ。
0:30:25	はい。北海道電力の瀬賀です。3 条 3 項の話かなと思ひまして

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:32	断層によって変位が生じるかという確認事項かと。
0:30:37	思いますけれども、こちらについては敷地の地質地質構造の方で審議 いただいて、
0:30:43	敷地内には活断層ないという評価でした
0:30:47	が、
0:30:48	認められたものかなと考えてますので、こちらの方の資料には特段掲 載はしてありませんでした。
0:30:57	すいません。
0:31:03	3 ページの、そうですね確認事項としましては審査の枠組みとしてです ね。ありがとうございます。2 章の 20 ページ。
0:31:13	ですねありがとうございます。
0:31:15	こちらに評価対象施設と断層の位置関係ということでお示しはしており ますけれども、従前、
0:31:23	より評価は変わらずですね断層、
0:31:26	将来活動する可能性のある断層等に該当しないということと、またこの 11 条の断層については、評価対象施設の直下に位置しないということ については、
0:31:35	従前より評価変わってなくてこちらの地盤斜面の審査で改めてご審 議いただく内容。
0:31:41	ではないと、ちょっと考えまして
0:31:44	最初のですね 1 章の
0:31:46	7 ページの、
0:31:48	基準規則に基づく確認内容ということで、あくまで地盤斜面の、
0:31:52	解析的な検討に絞って、資料をまとめていったところでした。
0:32:19	はい。
0:32:42	はい。
0:32:43	北海道電力瀬川です。6 ページにも、
0:32:47	設置許可基準規則を抜粋して、
0:32:49	3 条 3 項とあと 30。
0:32:52	8 条 3 項ですね。
0:32:54	変位が生ずる恐れがない地盤に設けなければならないということに対し て、この資料でもですねその評価結果がわかるような記載が必要という ふうに認識いたしましたので、
0:33:05	資料の方に反映させていただきたいと思います。以上です
0:33:10	ごめんなさい、7 ページでね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:12	7 ページで堂々。
0:33:14	書いてるのかこれって 6 ページはただ単にその、
0:33:17	こういう条項がありますよって言うだけであって、
0:33:21	7 ページでどう評価するんですかっていう話かな。
0:33:25	その辺ちょっと考えてもらったらと思います。
0:33:29	はい。北海道電力の瀬川です
0:33:31	そうですね 7 ページの方で、3、
0:33:33	3 項に関する記載。
0:33:36	項目を追記しまして、どういった確認内容であるのか、本資料での対応が何章なのかということがわかるようにさせていただければと
0:33:48	あとはねイヤホンどんどん形式的な話をしていくと、あとはねなんかちょこちょこ出てくるのが、
0:33:54	ガイドに準拠しどうこうって言うてるんですけど。
0:34:00	ガイドに準拠してという言葉が僕は引っかけたんですけど、
0:34:04	ガイドなんです
0:34:05	しかも準拠なんですけどこの評価
0:34:10	っていうコウ言葉じりなんで他が先行されてもそんな、
0:34:14	記載の
0:34:15	ないように準拠して、
0:34:16	はい。北海道電力の世良です。例えば 28 ページの、
0:34:20	ですかね。
0:34:23	地震力に対する基礎地盤の安定性評価にあたっては、審査ガイドに準拠し、以下の項目を確認するとあるんですが、一応先行サイトの
0:34:32	流れといいますか、記載を参考にさせていただいて、
0:34:35	資料を作成しており、
0:34:41	しまね。
0:34:42	至近のサイズですとシマね。
0:34:45	3、
0:34:46	であったり、
0:35:05	僕は確認しますが、すいません、北海道電力泉オカイトウ準拠するってのはガイドではなくて、基準規則、
0:35:14	であるということかい。
0:35:16	という辺りでしょ
0:35:20	うん。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:28	ちょっと、事実関係をちょっと確認したので、セガワからちょっと訂正します。
0:35:33	はい。
0:35:34	北海道電力瀬川です。すいません先ほど島根サイトを参考にしたと申し上げましたが、今、
0:35:40	確認しまして設置許可基準規則に基づきという記載でしたので、
0:35:44	ちょっと他の変更。
0:35:46	島根さんではない。違うサイトを見て、と記載しておりましたが、
0:35:51	より適切な表現があるかと思しますので、
0:35:55	記載については検討させていただければと思います。
0:36:24	だねこれも言い回しなんだけど、何か起居書き許可って出てきてて、これもね何かね。
0:36:32	言葉としては、
0:36:33	何か前回したとしても言ったのかな。
0:36:36	許可っていうかこれ、建設時の物性値だとか、建設時に移行してる。
0:36:41	そういう話であって、我々なんかの新規制基準の
0:36:46	話として今審査してて、
0:36:49	ここで、
0:36:51	何かっていうと、なんかね、ちょっとこう、いや、言い直し方がちょっと、
0:36:58	混乱するので、
0:37:01	混乱するしこ誤解で誤解すると思うんで、ちょっとこの許可っていう言葉を考えて欲しいなと思い
0:37:09	はい。北海道電力和泉です。既許可って使ったのはですね今回の審査の論点は何かと。
0:37:17	言ったときに、建設時の設置許可があって、それ以降、新規制基準の関係で重点的にやったものとかあとそれ以降変更
0:37:28	こうしたもの、そういったものが論点だよっていう、そういった議論がありました。なので、
0:37:34	既許可という、
0:37:37	項目をつけて、前回説明したんですけども、佐口さんからは、強化だけではちょっと具体性に乏しいよねというところで、いつの許可なんだと。
0:37:47	日付だとかそういうところもあるだろうといったところで、そこはフォローしたつもりです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:54	なので、一応我々としてはその論点を、
0:37:58	論ずる上で、便利な言葉として使っていたんですけども、
0:38:03	許可の言葉の違和感。
0:38:06	ていうのは、例えば、
0:38:09	建設時とかそっちの方がしっくりくるというそういったご趣旨でしょうか。 ちょっと加古が確認になりますけど、
0:38:19	これね、ただ単に僕らが慣例というかいつもやってる中ではね特重とか の施設の時に、新規制基準の許可の既許可の話を聞くかキクカワって いつも使ってるから、
0:38:32	だから違和感を感じてるのかもしれないんですけども、
0:38:39	じゃ、ちょっとそういう、
0:39:05	まあ何か全体を通してその言い回しだとかこの資料構成とかで、
0:39:12	最初に伝えたいことは、そんな僕の方からはそんなところなんですけど 他何か資料構成だとか、何か。
0:39:20	全体的によく出てくるような書き方とかで、
0:39:25	何か確認が必要なところとか、皆さんありませんか。大丈夫ですか。
0:39:42	規制庁の名倉です。
0:39:48	このファイトの特徴がちょっと見えないなって思いました。
0:39:55	PWR、D、
0:39:57	メモの人が結構あって、防潮で閉じるサイトウって国家多分始めた
0:40:05	それ
0:40:06	同じような類似するサイト条件っていうのは、
0:40:10	ちょっと女川は違うんだけども、
0:40:13	島根とか共通ですよ。
0:40:16	そんな時にサイトウの特徴をどういうふうに説明してるかっていうのをちょ っとよく見ていただきたいんですけど。
0:40:24	これもはぶっちゃけて言ってしまうと防潮庭で敷地を囲んでるから、
0:40:28	地下水が高くなる可能性がある。
0:40:31	だから、
0:40:33	第3条のところの、
0:40:35	変形の返上のところに、設計方針立てて、
0:40:39	それと指示とか、それ以外の項目について地下水は地表面に、許可段 階してますよ
0:40:46	なんかそこら辺がですね、一つの敷地の特徴から、ちゃんと結びつけて 読めるように、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:52	した方がいいんじゃないかなっていうちょっと何かこちら辺が散発的にバラバラと。
0:40:58	いろんなところ出てくるので、
0:41:00	そこら辺はちょっと関連づけをはっきりさせた方が、
0:41:03	説明としては理解しやすいかなというふうにはちょっと思いました。
0:41:15	規制庁佐口ですちょっと先ほど少し
0:41:19	うん。話に出ましたので、
0:41:23	何ていうんすかね。構成というより、少し表現のところの話になるかも
0:41:29	けどやっぱり6ページ7ページで、
0:41:31	これ結局、
0:41:33	この基礎地盤及び周辺斜面の安定性という
0:41:37	ものについて、
0:41:39	規則基準です。
0:41:42	これの適合をどのように示すのかというところなんですけど、やっぱり先ほどの
0:41:50	条文の話と、実際に確認内容とか、
0:41:55	方針って書かれていますけど、
0:41:57	ここはですね。
0:41:59	なかなか、
0:42:00	結びついてるのか本当にというところがあって例えば7ページで言うと、
0:42:06	これいきなり
0:42:07	一番上の第三条第1項、38条第1項のところの、
0:42:13	確認内容設計方針のところの二つ目のマルで動的解析では液状化による影響を考慮するって、いきなりこれ出てくるんですよ。
0:42:23	そうすると、当然、本文等、
0:42:26	別記の記載から、何でここに液状化が出てくるの。
0:42:30	ていう話になっていて、ましてやこれ、液状化と言いつつも、いわゆる周辺地盤ですよ。
0:42:39	周辺地盤なんだけど、ここに出されるとなんか支持地盤そのものが液状化するんじゃないか
0:42:45	いうふうにですね。
0:42:47	勘違いをされてしまう。
0:42:50	かもしれないので、
0:42:51	ちょっとここは、
0:42:54	あくまでも周辺地盤の変状。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:57	もうみたいなのがわかるような形
0:43:01	にしないと、さすがに、条文との関係も含めてですねわからないかなと いうのと、
0:43:07	あと、真ん中ですんで第3条に、第2項38条第2項のこの変形のところで、
0:43:15	確認内容設計方針の
0:43:18	二つ目の丸ですね。
0:43:20	これもですね実はごめんなさい。上の一つ目の丸では、
0:43:28	この液状化、不等沈下とか液状化とかこういうものが、
0:43:32	生じないことを確認すると。
0:43:34	こうって、
0:43:37	いながら、二つ目、二つ目の下の丸では、
0:43:41	液状化とか揺すり込み、こういったものの影響を考慮した。
0:43:47	場合においても、とかって話が、
0:43:50	何かこう、
0:43:51	言ってることがコウ。
0:43:54	全く反対でいやどっちなんだってという話もあって、
0:43:59	というのがまず1点と、それから、一番気になるのは、
0:44:03	一番最初の、
0:44:05	二つ目の丸のところの一番最初施設の詳細設計段階においてという文言が出てるんですけど、
0:44:12	これって、
0:44:13	そもそも必要なのかなと。
0:44:18	というか、むしろ、基本設計段階はこれ、
0:44:22	そんな方針にしなくていいんですか。
0:44:24	ていうですね。
0:44:25	むしろそっちの方が重要で、
0:44:27	この
0:44:28	詳細設計
0:44:29	経営段階においてってそもそもいるんですかっていうのが一つあって、 詳細設計段階ではそのえっと、
0:44:36	詳しい内容について、もう少し
0:44:40	詳細な検討をするとかっていう話であればわかるんですけど、あくまでも ここは設計方針の話なので、
0:44:47	基本設計段階における、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:49	その設計方針というものを、まず、
0:44:53	きちんとわかるような形で書いていただき
0:44:56	その2点ですけどそこはよろしいですか
0:45:00	はい、北海道電力の瀬川です。まず1点目ですね7ページの
0:45:06	三条1項の確認内容にあります蓋丸めの
0:45:10	記載ですけど、先ほど名倉さんのコメント、
0:45:13	等も踏まえてですね、町サイトの特徴、
0:45:16	をまず述べることでここ、
0:45:19	との関連付けといいますか、支持地盤が液状化するわけではなく、周辺地盤が液状化、
0:45:26	市、
0:45:27	他状態の安全率と、
0:45:29	算定しますという、そういったことがわかるような形にすれば、
0:45:32	諏訪がわかるような形とさせて適正化させていただきたいというふうに
0:45:37	考えてございます。
0:45:40	よろしいですか。2点目ですけどもちょっとおっしゃる通りで三条第2項の記載ですね。
0:45:48	あくまで設置許可段階では、設計方針を宣言するという形で、これがテンロクに記載されてテンパチに展開するという考えを持っておったんですが実際に設計するのが詳細設計段階という意味で、
0:46:02	そのあたり、こっちゃませになった形です、あくまで設置許可段階で設計方針とするということの宣言までとします。
0:46:10	ちょっとこの記載は適正化させていただきたいと思いますので、よろしくお願いたし
0:46:14	以上です
0:46:18	規制庁名倉です1点だけ今最初に説明があった指示のところ第三条第1項のところ、
0:46:25	第38条第1項
0:46:27	そこのところの二つ項目蓋ふた項目目で液状化による影響を考慮するって、
0:46:32	書いてる、これあくまでもうおそらく手法とか、具体的な評価方針として、地下水位の設定を地表面にすることとあわせてセットで、
0:46:42	地盤の液状化の影響を考慮した滑り安全率を算定しますって言えばいい話であって、ちょっとどの段階で何を言うのかっていうところをちょっとよく考えていただければなと思いました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:54	後者の方につきましては、
0:46:57	基本設計ないし基本的設計方針として、
0:47:00	今の段階で何を述べるか、基準適合上何を設計方針として述べておく かっていうことなので、おそらく言葉が余分なだけであって言うことは おかしくないのかもしれないですけど、
0:47:11	そこら辺がちょっとわかるように、
0:47:14	今の段階で何が必要なのかっていうところが、ぶれないような説明をち よっとしていただければと思います以上です。
0:47:22	はい。北海道電力飯泉です。承知いたしました。前者については滑リイ セ滑り安全率を算出する時の、
0:47:30	具体的な評価方法の話なので、本当にここの欄に書くべきかどうかも含 めて、
0:47:36	検討します。後者の方は、内容承知しましたので、検討させていただきます。 以上です。
0:47:45	私それ、うん。ちょっと関連で、7 ページに書いてますよとさつき佐口さん 二つ目の、4 章の話二つ目のマルは、
0:47:55	これいるんですかっていう話だったところ、これがね、142 ページが、
0:48:00	この内容が記載されている。
0:48:04	もう 1 回これが方針みたいなのがこう入ってくるんだけど、
0:48:09	何でこの文章に変わったのかなっていうのが僕よくわかんなくて、
0:48:16	下の設計方針はあるのかどうか、よく考えて欲しいんですけど、上の地 震発生に伴う周辺地盤の変状に不等沈下、液状化揺すり込み沈下等 の影響を受けないことを確認するって言うのが、
0:48:29	何かね。
0:48:31	場所場所でこう書いてることがこう違うなって思ってるんですよ。
0:48:38	何で 100142 ページで僕すごいわかんないな。これ主語もないし、
0:48:44	何が。
0:48:46	影響受けないことを確認する
0:48:50	で 143 も何か、
0:48:54	合っていないんだよなっていう。
0:48:59	特に僕 142 ページを見て、どこからこの文章が来たのかなんてがガイド とも何か違うシートを持ってきになった。
0:49:08	ところで、ついでに確認させてもらいましたけど、この辺のね記載もう 1 回、7 ページも、もちろん、
0:49:18	チェックされるんだと思うんですけどそっからコウ繋がる部分で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:22	本当にその記載でいいのかっていうのを確認しといてください。
0:49:30	はい。北海道電力の瀬川です
0:49:31	表記の揺れといいますかちょっと、
0:49:35	趣旨が、
0:49:37	触れとい
0:49:38	シマってるような記載になってしまっておりますので、適正化させていただきたいと思います。以上で
0:49:47	はい、お願いします。
0:49:49	もうどんどんこの中身に入っていきたいと思うんですけども、
0:49:56	うん。順番からして、まずはあれですよ評価対象の施設を説明しますよっていう話で、10 ページが、
0:50:06	グループ分けをしましたっていうことなんだけど、
0:50:11	すみませんなんかもう記憶で、どこに書いてあるとかちょっと置いといて記憶で話しますけどグループCっていうのが、
0:50:17	防潮てなんですよっていう話を、この前段で、してるんだけど、防潮てと言いつつ、これ防潮てに分類するものって、
0:50:29	の関係がね。
0:50:31	よくわかんないけどあの文章でいうと膨張てだけがちょっと後回しになってるのかなって思っておきながら、
0:50:38	構内排水コウ施設アノ 12 号炉取水炉とか、
0:50:42	こういう話も入ってくるんだけど、この辺はどっか説明あるんですか膨張てのグループにこれらを入れる。
0:50:49	理由じゃないけど考えていう。
0:50:53	はい。北海道電力の瀬川です。とちゅ
0:50:56	ページはですねちょっと評価結果の概要ということで
0:51:00	かなり丸めて記載させていただいてですねその記載が読み取れないんですけども、36 ページお願いいたします。
0:51:11	36 ページにその心といいますか、書いてまして注釈でですね一番下にあるんですけども、グループCのところに注釈を付してまして、その記載内容がですね
0:51:23	防潮てに支持される、または防潮底を間接支持する耐震重要施設については、防潮低と同様な地盤に支持される地中構造物ですので傍聴低と同じグループに分類すると。
0:51:34	関係ございます。ただ、10 ページはそこがですね読み取れないというところは事実かなと思っております

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:42	以上で、
0:51:49	* はですねフローのグループCのところ
0:52:00	これはあれですねこのフローもそうなんですけど、
0:52:05	これ、これちょっと※書きで書かれるとどうかなっていうのもあるし、
0:52:11	何か左側の文章にもないしっていうので、
0:52:15	文章は合ってるのかな。防潮てに支持されるまたは膨張手を間接支持する。
0:52:35	でも言葉ちょっとおかしくないから防潮庭と同様なし、地盤に支持されるって他も他もありますよねって。
0:52:45	超低と同じ地盤じゃない、地盤っていうのは何なんだっけっていう。はい。北海道電力ですちょっと同様なんていうのが、いろいろちょっと解釈の範囲があるかなと思うんですが、
0:52:56	完全にこれはもう膨張てと。
0:52:59	同じスタンス防潮ての中を通ってる構造物であったり、調停の上にある構造物なので、それをちょっと同様っていうと、ちょっと、
0:53:07	幅が、解釈の幅があるかなと思いますんでちょっとそこは、記載を適正化させていただいた上で、大事な内容と認識いたしまして、黄色はこの中でしっかり
0:53:18	本文として説明させていただきたいと。
0:53:21	以上です
0:53:22	はい。
0:53:24	包丁てと一体の構造物を包丁て取って、イイダ
0:53:30	その下、シンプルにせず
0:53:36	その辺は記載をちょっと適正化するし、ちょっと早い段階でその辺の説明が加えられたら、
0:53:45	何か見失うことがないかなと思うんですけれども。
0:53:50	これ、あれですよねえ。
0:53:53	もうグループCワー
0:53:56	今回評価しないんですよっていうのは、
0:54:03	これ、
0:54:10	北海道電力のセガワすみません3ページにもですね同じような記載は一応ありまして、
0:54:16	飛ばう調停が汗破線ですね、今後説明予定ということで示しております

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:22	その膨張性に※2 ということで、ここにも防潮でに支持される、または防潮底を完成しする耐震需要施設を含むという、
0:54:30	ことで、説明書きはあるんですけども、
0:54:33	そこがわかりにくいですからこの 10 ページでもここは後回しになってるんですよっていうのははっきりとこう書いて欲しいんですよ例えば木暮ハッチングもしてしまって、説明するとかね。
0:54:46	なんか、これはもう今回説明しないんだよっていうのが、
0:54:50	ここで僕は代表施設の話もするんですかってゆ言ったから、代表施設っていうのだけ取ってるんだと思うんですけど、そうなってくると、これ並びで見ると、あれグループCは代表施設ないんですかみたいな。
0:55:04	多分そういう目で見られてしまうと思いますね。
0:55:08	わかりましたんで、
0:55:10	もう 1 点グループ分けて聞きたいのは、
0:55:16	あれですね。
0:55:18	これ一さっき調整官の黒がこう言ったことと関連するんですけど、これ、
0:55:25	この
0:55:26	泊の発電所は、12 号炉と 3 号炉側で、地盤の物性分けますよって言ってますよね。
0:55:33	ですけども、
0:55:35	この施設をグルーピングする中では例えばグループBっていうのはですよ。
0:55:41	違う性を使う者同士がおなじにこう並んでたりするとかいうのがですね、本当にそういう考えでこれはロジックの話ですけど、
0:55:53	いいんですかそれは何で同じグループにできるんですか、高さ、高さをまず着目するっていう、
0:55:59	その順番で考えて良いついていうのは何、何がコウ理由なんて、
0:56:04	はい。同じグループBにした理由としましては、高さの観点で振動特性等を踏まえて分けております
0:56:14	ですね実際に、
0:56:17	基礎地盤の滑り等について、最も影響すると考えてますが、岩盤の強度ですけども、強度については、12 号と 3 号、和気、
0:56:26	田伏がありますけれども、値としては同じ物性値なってますのでそういった観点からも、影響としては同じグループで評価できるだろうというふうに考えて、
0:56:48	あ、すいません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:07	はい。
0:57:12	はい。北海道電力泉です。基本は、そこに1号炉側、12号炉側サンゴ側ありますけども、そこにあるものを使うっていうのが基本
0:57:24	です。
0:57:25	結果的に、強度は物性値整理の中で、同じ値に整理されてますし、変形特性は別の値になってますけれども、
0:57:35	結果的に、ほぼ同じ値にはなっていると。
0:57:39	いうところになっております。物性値としては
0:57:44	基本的に分布してるところを採用するという考え方です。
0:57:58	はいたんです。だから物性値は違うんだけど、強度としては変わらないので、
0:58:04	これは高さで分けたんでいいんですけどっていうのが、
0:58:08	もともと考えのベースにあるってことですね。
0:58:13	はい、北海道電力の瀬川です
0:58:15	はい、そのような認識でおります。
0:58:24	規制庁佐口ですけど、ちょっと関連しても、
0:58:27	そうですね。
0:58:28	この10ページでいうところ。
0:58:30	グループ分けした理由というかグループ分けは、施設区分及び標高設置標高の観点からってあるんですけど、
0:58:40	この施設区分というのはどういうことを、
0:58:44	おっしゃってるのか。
0:58:46	何か先ほどちらっとありましたけど、
0:58:49	36ページでそういう、何かちらっと書かれてますけど、
0:58:53	この施設区分という、
0:58:57	名称っていうのか、
0:59:00	文言も含めて、ちょっと教えてもらっていいですかこの施設区分というのが何者かという。
0:59:05	はい。
0:59:07	10ページ
0:59:09	の記載ですけども36ページお願いいたします。
0:59:15	36ページにこの
0:59:17	差、基礎地盤の代表施設の選定方針を述べておりますけども、黄色はこのふたマルメ。
0:59:24	になります

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:25	またフローは右にお示してるんですけども、施設区分ということで、包丁低と防潮堤外に分類することとしたという、
0:59:34	考えがありまして、それを施設区分と呼称しておりました。
0:59:39	なぜこの分けをしたかという、理由をふたポツ、ポチを二つで書いてまして、防潮では、
0:59:47	施設の右側に広範囲に設置される延長の長い線状構造物で、施設の規模が最大ということと、
0:59:53	防潮庭は設置位置より、地質状況であったり形状が異なるということから、防潮てをですね施設の区分としては徳田して、ちゃんと評価しよう。そういったところで、
1:00:03	大なたを振るったような形でフロー
1:00:06	を作成しており
1:00:08	以上です。
1:00:11	はい規制庁佐口です。膨張てだけを取り出してという、
1:00:18	ことはわかるんですけど、ちょっとその施設区分というのが本当にいいのかどうかというのと、当然先行サイトだと、やっぱりそれなりに理由があって、
1:00:29	例えば、先ほど少しお話出たかもしれないですけど、女川は、包丁てという形で、何か区分をしてるわけではなくて、
1:00:40	あくまでも代表施設として、
1:00:43	包丁て
1:00:44	出している
1:00:45	例えば御社でいうと、
1:00:48	例えばグループAかな。
1:00:51	グループAには属するんだけどそのグループAの中の代表施設として、
1:00:57	原子炉建屋と、例えば防潮てと。
1:01:00	という形で出されていると思いますので、何かこれだけをグループとして分ける理由が他にあるのかな。
1:01:08	ですね、例えば同じような先行サイトでいえば、島根だったら、シマでは、地盤の状況を、
1:01:16	考慮して、
1:01:17	傍聴てとかは他とは違うとかと。
1:01:21	基礎の形状です。
1:01:23	杭の基礎の形状とかそういうことがあってそれで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:28	分けたりはしてますけど、特に御社はそういうわけではなくて、非常に長くて、地質状況もそれぞれ違うので、
1:01:39	ここは徳田氏をしてグループを分けます
1:01:43	これはちょっと先の話になるんもありますけど、そうすると、
1:01:47	当然ながらこの膨張ての評価の際には、
1:01:51	いくつかですね。
1:01:53	例えば断面も2コガ3コガ4個かわかんないですけど、
1:01:56	そういった断面をたくさん切って、部分的に、
1:02:01	評価をする。
1:02:03	そういうことでよろしいですかね。
1:02:12	はい。北海道電力の瀬川です
1:02:14	包丁ての評価について
1:02:16	はですねえと。
1:02:18	次回以降となりますけれども、
1:02:20	防潮等については
1:02:22	ここに記載してます通り、線状構造物で延長が長いです。
1:02:26	長く地質の状況等も変わりますので、複数断面ですね検討断面というものを設定しまして、比較の上、代表断面を設定して評価するというのを今考えております。
1:02:38	以上で、
1:02:44	規制庁昨日前、下現状の考えはわかりましたけどで、逆に言うと、他の施設っていうのは、
1:02:53	例えば
1:02:56	地質状況が、何かちょっと変わるとかですね、地形、地形的なものの影響がどうか、
1:03:02	そういうのは、
1:03:03	ないって。
1:03:04	いうふうに考えて、
1:03:06	よろしいですか。
1:03:09	はい。
1:03:10	北海道電力の瀬賀です
1:03:11	そうですね。防潮てはやはり敷地の全体にわたって設置されるという意味では、
1:03:17	細かく見ていくと地質状況は変わるかなと思いますけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:21	他のグループなりグループBの建屋については、その中では大きく地質状況は変わらない。出てくる環境を細かく見ればちょっと変わるかもしれないんですけども、基本的には変わらないというふうに考えてございます。
1:03:33	以上です。
1:03:37	規制庁の名倉です。
1:03:40	と私は間を感じてるのは、
1:03:43	島根とか妥当。
1:03:46	ユニットごとに、
1:03:47	敷地の高さが違ってその海側のところも、
1:03:51	護岸との関係も1関係とかも全く違って、
1:03:56	すごく多様性がある、構造もベタ基礎のものもあれば、杭基礎のいろんな構造がある。
1:04:04	なんかそういうふうな多様性があるって島根は、
1:04:10	防潮庭と防潮堤外分けざるをえなかつ
1:04:13	女川については、
1:04:17	結局、
1:04:18	線状構造物としての延長が短いってことと、
1:04:23	あとは、
1:04:25	海水管ダクトとか
1:04:27	海水管ダクトではなくて、
1:04:29	どちらかというと、何だ、シャフトの方ですね。
1:04:34	排気塔のシャフトの方が、延長距離が長いとか、そういうふうなのがあって、
1:04:41	結局ですね、
1:04:45	類似したような構造っていうのは取水量も含めたら結構あるので膨張てと。
1:04:50	取水量とかそういうところについては線状構造物として、
1:04:55	あまりこう分けにくいところがあったので女川分けないでやったってのは確かそういうふうな私記憶があって、
1:05:01	どっちに近いんだろうなと思ったらここは、ちょっと長いところが経路が長いところ防潮等の経路が長いところがちょっと違うかもしれないけど、
1:05:11	ただ、内側と外側の標高ってほぼ同じような、
1:05:15	関係なので、どの断面の方が厳しいどの断面が厳しいかっていうのは設計上は

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:21	設計するときは、
1:05:23	多分選んでもらわないといけないんだけど地盤安定性評価するときはどっか代表を選んで、
1:05:28	やるんだけどそこはあんまり、
1:05:30	うん、どこかっていう話では、
1:05:34	影響しないんじゃないかなっていう気はちょっとしないでもないですけど、ただ単に後から示すものだけを分けたかった。だから、区分をしたんだっていうふうにはちょっと私とはとらえられなくて、
1:05:45	そういう意味では私はそういう意味ではAとCってのは区分が、
1:05:50	本当に区分する必要があるのかっていうことがすごく議論なりそうかな。
1:05:54	思っていました。以上です。
1:06:01	はい規制庁サービス、もちろんそれは今回は説明がないので、今後の話になると思うんですけど、私が現在仁木になってるのはあくまでも、
1:06:12	GroupCっていうのは膨張で当間膨張で2、
1:06:15	関係するとか、附属する施設だったり、
1:06:19	ていうのがあると思うんですけど、例えば10ページとか見ると、包丁てのすぐ近くにあるものも実はあるんですよ。グループ例えばAとかに分類はされて
1:06:31	こういうものを、
1:06:34	包丁ての評価の時に、どう考えるのか、例えば断面2をどこに切って、そこに対してどういう、
1:06:44	施設を考慮して、
1:06:47	評価を行うのかっていうのを多分影響してくるのかなと私は思っていて、例えばグループCの、
1:06:53	ところで影響を評価をシマ、評価をしますんで膨張でだけなんで防潮庭と今ここにあるGroupCだけのものだけで評価しますっていうと、
1:07:02	ひよっとすると、
1:07:03	通る断面によってはちょっと、
1:07:06	違うのかなっていうのも、
1:07:08	出てくるかもしれない。そういうのがちょっと今、今の懸念事項として持っていますので、そこはグループをこう分けて評価をすること自体は、
1:07:18	私はわからなくもないんですけど、最終的な評価の時には、今グループに属するんだけれども防潮で非常に非常、非常に近いもの。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:28	この施設の取り扱いをどのようにするのかっていうのを少し考えていただきたいと思いますそれは、今後の話ですので、今すぐに回答とか必要ないんで、よろしく願い
1:10:27	あ、ごめんなさいちょっとイマダ代表施設のお話なので、ちょっと同じ関連で、
1:10:33	ちょっと 25 ページ。
1:10:35	のところの代表施設の選定のフローチャートで、
1:10:39	3.2 章の右側二つ白丸があって、二つ目の丸ですね、代表施設※1 については、
1:10:48	DグループAから減少タテをグループBから緊対所それぞれ選定したってなって、
1:10:53	その代表施設に※が打ってあって、下を見ていくと、
1:10:56	津波防護施設等は、
1:10:59	今後変更となる可能性があるため、各部門施設を構造等を踏まえ、代表施設に選定されるかを確認する予定とって、
1:11:07	この※1 は、これグループAグループBにかかっ
1:11:10	グループで多分さすがにないと思いますけど、グループAにもかかっている。
1:11:15	ちょっとこの津波防護施設等と言っているものと、10 ページのこのグループABCに上がっている。
1:11:22	一覧と、
1:11:23	の対応をちょっと教えてもらっていいです。
1:11:26	はい。北海道電力の瀬賀です。この※1、
1:11:31	はですねグループAもBも両方かかっ。
1:11:36	おります。
1:11:38	まだ施設の形状等を確定しておりませんので、
1:11:43	か、もし変更となっ
1:11:45	た場合に、本当にそれが代表施設にならないのかということはチェックしたいというふうに、
1:11:52	考えを記載してるところになります。すいませんこれあえて、津波防護施設等はって言うてるんで、その津波防護施設等は、イトウというのと、
1:12:03	この 10 ページの施設が津波防護施設等というところの 10 ページのすべてのものを指すってことです。
1:12:09	はい、えーとですね、津波防護施設等としましたのは、具体的に申し上げますと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:14	10 ページでいきますとですね、ちょっと 10 ページの図、小さくて恐縮なんですけれども左側の方に、
1:12:20	オレンジ着色してTP39 メートル盤というところで、
1:12:24	燃料タンク、SA室というのがございまして、これは津波防護施設ではなくって、常設重大事故等対象施設、
1:12:34	これが、
1:12:35	社内、設計が固まっ。
1:12:38	てないといいますか、形状がもし変更になった場合は、これも対象になるだろうということで津波防護施設だけではなくて、
1:12:46	などという用語をつけてこれも包含する形でわかるように、したという津波と全く関係ないものも含めて等ってことですかそうですね、おっしゃる通り、
1:12:59	だからまだプラントの審査で、
1:13:02	許可段階でまだ配置とか形状とかプラント審査がまだ固まってませんってということ。
1:13:06	普通だとほらそれが固まってから地盤斜面はいるんだけど、
1:13:10	それがまだ固まってない。
1:13:20	あくまで基本設計段階の審査なんで、当然ほらプラントの施設配置とか、プラントの
1:13:29	審査の所、基本設計の審査の段階で、
1:13:32	確定するん、変更になるってのはもちろんあるんですけど、
1:13:37	その許可をもらった後に、詳細設計段階の話をしているそれとも、今基本設計段階のプラントの、
1:13:44	と話をしているのかっていうのは、
1:13:46	そこがよくわからん。
1:14:00	早々と地盤安定性で、今、
1:14:04	今、
1:14:06	これだと。
1:14:08	決まってないじゃんっていうふうになって、
1:14:12	3 ページとかで言うと、
1:14:13	確かに防潮堤外の津波防護施設等はとか高いここの 3 ページの※1 とかって書いてあるんですけど、
1:14:20	これをやられると、今回の会合でどこまでを、
1:14:24	やるんですかっていう話になって、いや、これ防潮堤外の対象施設も、いや、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:30	今後カフェ売るんです。だけど、
1:14:32	代表施設も変わるかもしれません。
1:14:34	この会合で何決めるのってなっちゃうので、
1:14:39	ちょっとそういうようなところがですねしかも津波防護施設等って言ったんで何か防潮低と防潮で周辺の施設は若干変わるかもしれないんでグループCは、
1:14:49	何か代表施設が変わるかもしれませんね。
1:14:53	ドイという話だったらなんですけど、そうそうでもまたないわけで、
1:15:04	うん。
1:15:05	ちょっとねこ。
1:15:10	ううん。
1:15:45	実は徒党としてはそう、そうですね、現実はそうです。
1:15:51	はい。
1:15:53	なのでこういった北海道電力泉ですよ。なのでこういったところは、現段階の基本設計だということもあって現段階の諸元で、
1:16:03	評価をするというのが当然のことですし、
1:16:09	詳細設計段階で変わるとしてもそうそう、中今、基礎地盤の上、
1:16:15	代表選定では、重量等が効いてくるわけですからけれども、それが、
1:16:20	大きくあることはないというふうには考えていますので、
1:16:28	設計確定後に、何らかをチェックするといったような、
1:16:32	記載については少し、
1:16:37	見直したいなというふうに、
1:16:39	思います。ちょっとこれを変えてしまうと
1:16:43	今議論あったような、
1:16:50	何て言うんすかね。本質じゃない議論を呼んでしまうというふうに考えますので、ちょっと工夫したいと。
1:16:56	思います。以上です。
1:16:59	はい。ちょっとねと、やっぱり、冒頭丹の方から待つてするとかこれは何か今後解析して、説明予定とか、
1:17:07	今後変わるかもしれませんみたいな、
1:17:09	そこら中であって、
1:17:11	結局今回どこまで、
1:17:13	説明してどこまでが、
1:17:15	クリアに
1:17:16	したいと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:18	すみませんちょっと今、代表施設って話があったんで、確認。
1:17:22	はい。
1:17:41	既設の名倉です。
1:17:44	そういう意味であくまでも今の仮定条件というか、今どういう条件でやってるかっていうことはなるべく取りまとめ資料に
1:17:53	表しておこうということで例えば
1:17:55	補足説明資料の 104 ページとか、建屋のモデル化とかですね
1:18:00	あとはそれ以外のページで、地質断面書いてますよね。それはあくまでも規模感とか重量とか、諸元っていうのは、
1:18:08	今の許可段階ではあくまでも仮定条件、季節はある程度詳細な条件出せるんですけど、
1:18:15	これから作るものについては仮定条件かもしないから特に
1:18:18	SAとかでまだ作っていないものっていうのはそういう条件をしっかりと
1:18:23	補足説明資料に書いておいて、許可段階で、こういう条件だったからってということで、許可整合性、工認の設工認の中で、
1:18:32	確認をすると、差分を、
1:18:35	というような立て付けになっているので、
1:18:37	そういう意味では早く、
1:18:39	許可段階の条件を決めてもらって、それで解析。
1:18:43	をした結果を提示してもらおうと。
1:18:47	いうことになると思うんで、それは腹決めだけ。
1:18:50	ですね、ということでよろしくお願いします。
1:18:52	はい。北海道電力泉です。承知いたしました。
1:19:07	ねえ、話が。話が口になってるんだけど、
1:19:11	さっき 25 ページで、同じところに代表施設で、
1:19:17	このグループBからは、
1:19:21	緊急時対策所を選定したんでしたっけ、これ何か。
1:19:26	これと、何か、後で見たらね式しょう。
1:19:30	選定したのかなと思ったんだけど。
1:19:33	合ってますか、対策しょう。うん。
1:19:38	はい、北海道電力、瀬賀です。
1:19:43	緊急時対策所はですね指揮所と待機所の両方がございまして、
1:19:48	資料でいきますと、
1:19:50	48 ページだけど、
1:19:55	代表は、緊急時対策所が代表施設両方

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:00	です。評価をした断面が緊急時対策所指揮所を通る断面という。
1:20:05	意味で、
1:20:17	田井。
1:20:19	両方。
1:20:20	10 ページは両方選んでおります。
1:20:28	いや、すいません、赤枠で囲った範囲両方。
1:20:33	指揮所も、
1:20:34	代表施設で赤く囲っていたんですけどもちょっとそう。
1:20:38	代表施設を二つ選んで、その中で、評価をかたっぽに代表させる。
1:20:44	ですか。
1:21:08	はい。
1:21:13	北海道電力の瀬川です。ちょっとすみません、混乱させてしまっているんですけども、まず施設の選び方としまして 47 ページ。
1:21:23	の方で記載してございまして、
1:21:27	47 ページの方では、
1:21:31	評価対象施設ということで、衛藤グループBに該当しますのが緊急時対策所、あと空調上屋、これはそれぞれ指揮所待機所用がございまして。
1:21:41	あと第代替非常発電機という施設がございまして、影響要因の観点を踏まえると、緊急時対策所が代表施設になるというふうに、
1:21:51	考えており、
1:21:53	このTHAI緊急対策所について、
1:21:56	この
1:21:57	節について、代表施設についてどの断面を、
1:22:00	検討するのとしたのが、ページが変わりまして、53 ページ。
1:22:06	になります
1:22:12	代表施設を選定した後に、53 ページで、断面をどのように設定するかということを考えてます。
1:22:19	A' 方向については両方をですね、緊急時対策所の待機所も、指揮所も通る断面になるんですが、海山方向、
1:22:28	B' 側のほうの断面については、待機所を通る断面も考えられますし色紙を通る断面も考えられるということで、54 ページにその断面の比較をしております
1:22:41	わかりました。これ、これ、だから
1:22:44	ちょっとこれ、今の説明をもとに考えてみますし、
1:22:51	ちょっと場合によってはね、何か議論が必要な

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:54	ところかなって思いますし、
1:22:56	わかりましたか。
1:24:13	はい。北海道電力泉です。
1:24:15	少し統一がとれてなくて申し訳ございません。野瀬施設としては、市、緊急時対策所、
1:24:22	ということでその中に式場と待機所があるので、
1:24:26	施設として評価するときに、どこの断面が一番適切かっていう、というような流れで書いたつもりではいたんですけども、10 ページの表現は一つ一つ書いていたり、
1:24:37	46 ページ、ごめんなさい、48、7 ページでは、
1:24:42	大きく変えて細かく見せてみたりとか言ったところがあるのでちょっと
1:24:48	そういった誤解を与えないような表現をしたいなというふうに思います。以上です。
1:25:04	はい。谷です。えっとね多分これせっかくね、2、26 ページ 27 ページで、24 ページ 25 ページもそう
1:25:12	概要版ぼくやったことはこれですよって書いてるようなところなので、
1:25:18	ツボクラもこれを見ながら、
1:25:21	これをガイドラインにしながら資料 4 で言ったんだけどもなんか若干ちよっとう書いてることが、
1:25:31	なんか、これがあるがために混乱するようなところもちよっとうあったんですよねここ僕どこどこで混乱したか。
1:25:39	何か、地下水の話とかなあ、なんかその辺もう 1 回ですねこれせっかくつけるんだったら、これがコウーならないように、ちよっとう願いたいな。
1:25:49	いうところで、
1:25:53	はい、北海道電力の瀬川です。
1:25:57	概要を取りまとめる際にですねちよっとうスペースの都合で丸めたりしてちよっとう記載が、
1:26:01	わかりにくくなってしまふところありますので、しっかり整合するような形で、わかりやすく、目的にするものとして取りまとめ、
1:26:08	たいと思います。ありがとうございます
1:26:10	はい。お願いします。
1:26:12	あとね次にちよっとう場合によってはみんな戻っていただいて、
1:26:17	40 ページ 45 ページ、41 ページから今度は

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:22	代表施設の選定をこうしますよっていう話になってんだけど、
1:26:25	なんかね 40 ページが、
1:26:28	これはね説明が僕はよく理解できなくて、
1:26:34	何が分かんなかったかということこれは、41 ページは結局滑りだけに着目したような、選定の、
1:26:43	着目点にしますよっていうのを 40 ページで書いてるんだけど、
1:26:48	いや、いやそれは、
1:26:52	支持力活動力、
1:26:55	底面の権者に傾斜については影響する要因に差異がないと考えられる ってもうなんかはつきり書いてるんですけど。
1:27:02	いやそんなこともないんじゃないのかなって思って。
1:27:06	いや、だって、だってこれ施設を選ぶんだから。
1:27:11	その地盤がどうのとかは、
1:27:14	ここの構造としては、
1:27:18	評価対象施設はいずれも岩盤に支持され、されるから、硬質地盤
1:27:23	ですよと、もう一つは極限支持が十分大きいですよ。
1:27:27	だから、指示とかに着目せずに、滑りだけを
1:27:32	考えますよっていう何か説明がすごいぞ。
1:27:36	そんな説明を何でわざわざしなきゃいけないのかなって思ってて、いや これでも指示とかに関しても、この施設で代表できるんですよって言って もらわないと。
1:27:47	代表施設で、CGも代表させてるわけなんですよ。
1:27:51	その指示は、どこでも実はいいんですよとかって言われると、
1:27:55	何か、
1:27:56	説明が、
1:27:57	方、
1:27:59	ここでまず引っかかってしまうんですね。
1:28:01	で、別にそんな説明をしなくても、
1:28:05	ちゃんとここで支持の観点でも、経営者の観点でも、
1:28:09	これが 1000、こういうことに着目したらいいんですよっていうような、
1:28:14	そういう説明にならないもんかなと思って。
1:28:18	読んでたんですけども、やっぱこれはすべりに着目しないとこういう選 定の要因がせ、整理できないんですか。
1:28:27	北海道電力のセガワで、
1:28:29	おっしゃる趣旨、理解

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:32	した。
1:28:33	ここのですね差異がないと言い切り過ぎていって、木曾。
1:28:38	一番滑り、
1:28:39	だけにちょっとフォーカスするような資料になって
1:28:42	いる。
1:28:43	でも、
1:28:45	実際に施設の重量とかは支持力とかに関係してきますし、
1:28:50	滑りの観点で、
1:28:52	要因を選べていれば、
1:28:54	集中力、
1:28:56	いや傾斜についても選べてるだろうという、ちょっと考えも
1:29:00	内々にはあったんですけどもちょっとそこがよくわからなくなってるなっていうところがありまして、
1:29:06	無理にここに、
1:29:08	すべてに限定する必要はなくてですね谷さんおっしゃられたように、
1:29:14	ちゃんとですね支持力に対しても経営者に対しても、この観点で選べれば第この観点で代表施設を選べば問題ないんだっていうことがわかるようにですね表の方、
1:29:24	取りまとめさせていただきたいと思い
1:29:27	以上で、
1:29:42	はい、お願いします。
1:29:48	それで、
1:29:51	うん。
1:29:53	あれ、これなんかメモって
1:30:20	それで
1:30:22	こういう理由でっていうのが 42 ページから、
1:30:26	ですね。
1:30:28	僕そのあとに代表断面の話がどこで、
1:30:33	これ、52 ページですね。
1:30:37	なんかこれって一ぱ食う前にこう聞いたことと若干、
1:30:43	御説明が、
1:30:46	違うかなって思ったんですけども。
1:30:49	これ何か地質構造に着目して、
1:30:53	るような、
1:30:57	記載二つ目の○は地質構造ですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:05	地形の傾斜。
1:31:07	高校に設定してるとかそういう話もなかったですかね汀線方向。
1:31:14	北海道電力は4月52ページでよろしいでしょう
1:31:18	こちらはですね
1:31:21	今回資料で変更していなくて前回ご説明した内容を、
1:31:25	にはなるんですけども、地形の特徴ということでは、
1:31:30	傾斜方向、
1:31:31	という意味で記載してますし、
1:31:34	地質構造の特徴という意味でも、
1:31:36	和気
1:31:37	記載させていただいて、
1:31:42	でも上記を踏まえ、
1:31:46	て書いてるところが、
1:31:48	地質だけじゃない、これ。
1:31:52	はい。そうですねxxだ。
1:31:56	年については、地形の特徴があまり
1:31:59	なくですねはイワイ'の方には北東方向に位置する斜面に正対しということ
1:32:05	地形の観点ですね、この情報。
1:32:07	を記載させていただいており
1:32:09	いや、僕ので、このこと聞いてるかって言ったら層厚方向に着目して、倉庫方向になるとしたら、これなっていないよねっていう、こうだって両方の断面で傾斜してるし、本当に層厚にコウ。
1:32:25	走行方向にするんだったら、これ斜めになりますよね。
1:32:29	でも、北海道電力としてはやっぱり地形っていうのも重要な要素と考えて、地形の傾斜方向斜面、海者海山斜面、
1:32:40	の方にゴコウプラントの保存、
1:32:42	作ってんじゃないんですか、そうじゃない。
1:32:58	です。
1:33:00	北海道電力の瀬川です。とはイワイ'断面が、
1:33:04	斜面を
1:33:05	に正対しまして地質構造も傾斜方向ということになり、
1:33:09	ので、あそこに直交する。
1:33:16	ちょっとね、
1:33:19	この斜面に正対しているのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:22	どういう意味かなって、斜面に正た
1:33:25	多分言葉が、生体支持は通じないんじゃないかな。
1:33:33	北海道電力泉です。例えば、斜面方向等、
1:33:38	等々とか生体という言葉に引っかかったということですね。
1:33:43	はい。
1:33:45	わかりました。これは、斜面の傾斜と地質構造の向きが大体一致してるんでこの武器ではイワイは大丈夫でしょうと。
1:33:55	いうところとそれに直交する断面を、代表断面として選びました。ざっくり言うとそういう説明になります。
1:34:04	ちょっと生態というのがちょっと、
1:34:07	ピンとこないのであればこれ
1:34:10	アクセス道路の方、
1:34:12	時に使った言葉だったかもしれませんがけれども通じない言葉を使ってもあれなので、
1:34:19	ちょっと
1:34:22	ちょっとこれが最もいい、表現方法かどうかはちょっと検討させてください。
1:34:28	以上です。はい。
1:34:29	これはあれですね意味するところは最大傾斜方向の、
1:34:33	断面線になっているよっていうその通りです。はい、わかりましたわかります。
1:34:55	あれですね 53 ページが金対象で、
1:35:00	二つ代表地点なんだけど、
1:35:03	断面はこう設定しますよって言ってるんですね。
1:35:44	瀬尾名倉です。
1:35:47	ちょっと前の方に戻るんだけど、
1:35:50	8 ページと、
1:35:51	10 ページで微妙に記載が違うものがあったりして、それが何を表してるかっていうと、
1:35:58	例えば取水ピットスクリーン室防水液とかって、8 ページの方には書いてあるけど、10 ページの方には書いてなくてっていうことで、
1:36:07	少しちょっと 10 ページとかがわかりにくいのは、
1:36:12	これ 1 回ちょっとうベッドでもいいんですけど整理していただきたいのは、
1:36:17	耐震重要施設とか重大事故等対象施設、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:22	何がここ表してるのかって重複してるものが結構あったりするんで、
1:36:27	これ完成支持構造物をそのまま対象として書きちゃってるんだけど、じゃあ何を指示してるんですかっていうのが一ちょっと主なものを書けるものはちょっと変えて整理しといたほうがいいんじゃないかなと。
1:36:39	ちょっと錯綜しててですね、わかんないものもあって、
1:36:43	これおいおいですね。
1:36:45	DBの代表が何なのかSAの代表が何なのかっていう、
1:36:49	切り口の整理も、
1:36:51	今後、審査の結果を取りまとめる時には多分必要になってくると思うんですけど。
1:36:56	そういった関係で、ここに書いてある区分はSADBチャンポンなってるので、何が何、
1:37:04	どの、その構造物に、が何を支持してるのかっていうのが、ちょっと代表的なものがわかるように、
1:37:10	少し補足的に整理しといた方がいいんじゃないかなとちょっと、ここは少し検討してもらえますか
1:37:55	北海道電力瀬川です
1:37:57	ちょっと私が8理解できていないところもあるんですが8ページはですね、
1:38:04	着色を、
1:38:06	同じような色合いで申し訳ないんですけどもピンクが耐震重要施設、かつ、常設重大事故等対処施設、
1:38:13	でして、青が耐震重要施設
1:38:16	のみ。
1:38:17	黄色が常設重大事故等対象施設ということでSA関係の、
1:38:22	となっております
1:38:23	10ページは、今度ですねこれを全部コウちゃまぜにし、ごちゃまぜではないんですけども、
1:38:29	代表施設を選定する上でグループ分けをした色になってまして、
1:38:33	赤がグループA、
1:38:36	名倉です。
1:38:39	ちょっとよく考えていただきたいのは、
1:38:43	取水ピットスクリーン室が耐震重要施設なんですか。
1:38:48	間接支持構造物ですよ。
1:38:53	はい。そうですスクリーン室を水撃等を指示する。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:59	間接支持の面もありますので、確かに。はい、わかりました
1:39:03	海水ポンプは非常用の海水ポンプはどこにあるんですか。
1:39:07	どこに指示されてるんですか。そこわかります。パッと答えられます。
1:39:12	ストレナー室はじゃ何を指示してるんですか、ストレナー。
1:39:16	それ以外に何か指示してるんですか。
1:39:19	なんかそういうふうなあ。
1:39:22	関係がですねちょっと錯綜してるものもあるので、
1:39:28	うん、だから耐震重要施設ですと言ってる中に津波防護施設も入ってるわけですね。
1:39:35	はい。おっしゃる通りして8ページの
1:39:38	※1に書いてある通りですね、耐震上イセ
1:39:42	括弧間接支持構造物を含むということで後、おっしゃる通りコウチャマゼになっている。
1:39:50	ちょっとなんか、私が気にしてんのは津波防護施設等。
1:39:54	SAとか、耐震重要施設がそこら辺が、
1:40:01	区別する必要があるのかどうかってのは確かにあるんだけど、少なくともDB関係と衛生関係、
1:40:09	錯綜しているものもあれば両方支持してるものもあれば、
1:40:13	片一方だけのものもあるわけですね。
1:40:16	それは、
1:40:17	片一方だけのものについてはここに書いてある、黄色オレンジ系の色。
1:40:22	のものはそうなんだけど、
1:40:24	そっか。
1:40:27	青いやつは耐震重要施設だけで赤いやつが、
1:40:31	耐震重要施設とSAの兼用ってか支持構造物として兼用なのか、それをここで表してるってことなんだけど、ちょっとここら辺の関係がですね。
1:40:39	赤いものが何でそうなのかとか、どっちだ、どっち両方表してるとしたときに、
1:40:47	うん。これ私もちょっと説明できない。
1:40:50	取水口貯留堰、取水炉。
1:40:53	取水口貯留堰がこれ両方とも耐震重要施設割譲常設。
1:41:00	はい。要はこれ重大事故等対処施設両方になってますよね。
1:41:04	うん。ここら辺の意味合いとかってこれ一わあそっか、よく考えればわかるのか。でも施設施設が施設の人間でないとこれわかんないね。
1:41:17	うん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:19	わかんないかもしれないのでちょっとそこら辺、ここに必要かどうかって話はちょっとあるんだけど、
1:41:25	錯綜してるものについてはちょっと参考でわかるようにしといた方が、
1:41:30	いいんじゃないかなと思いました他のサイトで整理してるところは女川かどっかであったと思うんですけどどうにかとか忘れましたが、
1:41:40	はい、北海道電力の瀬川です。施設の位置付けがわかるようにですねプラントが審査アンドウ引用してわかるように
1:41:47	整理したいと思い
1:41:48	以上で、
1:42:39	谷です。
1:42:41	イマセまたそ
1:42:42	53 ページって断面これ二つ並べてんすけど、
1:42:46	これって、この断面で、
1:42:49	トンネルが入るんですっけ。
1:42:51	そ、その辺は、
1:42:53	特に説明なしですか
1:42:57	回動電力のセガワで、
1:42:59	トンネル、
1:43:01	ですかね、アクセスルートトンネルなど、
1:43:05	はい、檀。
1:43:07	根井市で直接入ってくるかはあれですけども
1:43:11	BB断面等ではもちろん入ってきますので、
1:43:17	通る位置ではあるんですが、今描画上はしていないものになっております
1:43:22	トンネルの断面セキってどれぐらいなん。
1:43:28	いや、今日、
1:43:29	解析上考える必要があるのかないのかっていうのは、
1:43:33	ちょっとこれ見て気になったのと、あとこれあれですかねこの 53 ページのこの下側の断面B'断面って、
1:43:42	最後の斜面が国と崖になってるじゃないですか。
1:43:47	これ、何がある場所なんですか。こんな崖があったんです。
1:44:27	昔現地調査で、地質の方の調査で確認した。
1:44:32	MIS5eより古い。
1:44:34	改正層が、
1:44:36	ある辺り、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:37	の前面の、
1:44:39	モリモ
1:44:40	ですよ。うん。そこ立ってると
1:44:43	になります。
1:44:45	大井。
1:44:47	で、
1:44:50	トンネルはある、この辺が、ここ、小口の位置と全然違うよね。
1:45:00	はい。
1:45:12	この辺地形が変わったりしないんですか、その工事によって、
1:45:20	北海道電力の生活この示してる断面については変わらない。
1:45:24	と考え、
1:45:31	はい、確認できました。
1:45:46	あと政治のところろが、やっぱり何かよくわからなくて、
1:45:53	何か最初にゆ最初に言いたいのは、
1:45:58	えっとね 56 ページ 57 ページで物性値コウしましたよっていう話を、
1:46:04	してるんだけど何をこれ説明してるかって何か 12 号から変えたのをこう 変えましたって説明になってる。
1:46:11	ですかね。
1:46:12	何を説明したいのかっていうのが、
1:46:15	よくわからなくて、
1:46:18	12 号で変えたところ、12 号の
1:46:24	建設時と変えたところがこれですよって説明が 56 ページっていうこ とでいいんですか
1:46:31	北海道電力の瀬川です。56 ページではですね使用する物性値の基本 的な考えとして、
1:46:37	3 号炉、
1:46:38	解析物性値というものは、3 号建設時と同じ値を使うという旨、また 1 号 開セキ部設置については、12 号の建設と同じ値を、
1:46:48	使うということを記載してるんですが、その中で、12 号物性値につい ては、3 号炉の間、建設中の審査ですねそれを踏まえて、
1:46:59	変更を行ってますのでそこは論点と考え、
1:47:02	ておりましたのでここをちょっと徳田しといいますか明記をした上で、以 降、説明している。
1:47:08	ものになる。
1:47:21	町の名倉です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:23	これ、例えば 60 ページでハッチングしてあるところは 12 号許可時から変更を行った。
1:47:29	解析を物性値って書いてるのはこれはサンゴの新さんと議員じゃなくて今回変えたもの。
1:47:36	北海道電力の瀬川です。
1:47:39	下へ
1:47:40	今回の新新規制で値は変えてますが、変えた理由としては 3 号の、
1:47:46	建設の考えを持っ
1:47:49	この 12 号にフィードバックしてきたという位置付けで考えて、
1:47:53	わかりました。
1:47:58	ちょっと重ね重ね言いますけど、
1:48:00	サンゴの申請の時に変えた。
1:48:02	ものが何かあるとかそういうこと等を今、改めて審査しようとしてるんではなくて、
1:48:09	現時点で変更
1:48:13	してるところをこの赤ハッチで変えるっていう話をしてるっていう理解でよろしいですか。
1:48:19	はい。北海道電力泉です。はい。その通りで 3 号建設時の設置許可は 3 号建設時に特化した形でやっていますので、
1:48:27	12 号炉の申請時の値等は一切いじってありませんで今回 12 号炉の解析用物性値も使用するにあたって、3 号の建設、
1:48:40	許可時に設定した考え方をフィードバックして一部、12 号炉の設置許可時の値を更新している。
1:48:51	ていうような考えであります。以上です。
1:48:59	規制庁の名倉です。それで最終的に、
1:49:03	12 号の物性で重複するものについて、何が今下、最終的な現状で異なってるかっていうところはまだ、
1:49:13	資料にはどこにも表現されていない。
1:49:18	最終的に変わらないところがごくわずかに残ってるんだけどそれについては特にクローズアップしてない。
1:49:24	ね。
1:49:27	北海道電力泉です。今名倉さんおっしゃったのは 12 号炉申請時から見直してないのは、特に市協調して示していないんだよねということでしょうか。
1:49:39	私が言いたかったのは、72 ページの 73 ページで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:43	上と下を見比べたときに、
1:49:46	同じ名称のものを同じ名称とか強度特性、変形特性とかいろいろある中でほとんど数値が同じなんだけど違うところのごくわずかなんだけど、
1:49:55	最終的に残ってるところで、
1:49:57	それはどこかっていうことは認識してないってことですね。
1:50:05	ええ。
1:50:06	北海道電力の瀬川です。12号炉のですね、具体的に言いますと密度であったり、
1:50:12	静ポアソン比、動ポアソン比、
1:50:15	等については、
1:50:20	12号の、
1:50:21	建設時と同じ値、
1:50:23	となって、
1:50:24	ておりました、強度については3号、
1:50:28	の考えを取り入れて、同じ値となっております
1:50:32	すいません認識してないっていうのがちょっとよく、
1:50:35	理解できてなかったんで、すみません。例えば、
1:50:39	72ページの73ページで加算があるか火砕岩類のA級ののところを見ると、どこが違うかって言ったら、
1:50:46	よく見ると、同性ポアソン比と同せん断弾性係数がちょっと違うだけで、
1:50:52	それ以外全部同じなんですよね。
1:50:56	はい。はい。そういうふう違うところだけを拾ってくとかなりごくわずかになるんだけど、ほとんどが同じWenchuanなってるんですよ。
1:51:07	だから、違いわあ、今回変えたことによって語句をさらにごくわずかになってるんだけどそこら辺は特に説明が、
1:51:16	何が違うのかなんでそれは何で違っていいのかっていうふうに私は見てみたんですけど逆に、
1:51:24	ごくわずかしか違いがないから違いがあるところが違いがあっがいいんだってという説明。
1:51:31	粗相それそちらの方は聞いた方が早いのかもしれないなと思ったんだけどそういう説明は今回はしないという理解でよろしいですね。はい。
1:51:42	ようやく理解が
1:51:43	できます。
1:51:47	議題としましては56ページのところに、
1:51:51	あります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:52	が間にふた丸めで、それから田丸目で書いておまして、
1:51:57	後段の方になるんですけども、2行目の後ろの方です。
1:52:01	岩種岩盤分類の分布状況を踏まえまして、それぞれ12号と3号炉で試験してますので基本的には解析用物性値の別個に、それぞれやった試験結果を採用するという、
1:52:12	大きな考えを持っております。
1:52:15	それに対しまして、今回変更した
1:52:18	値というのがですね、
1:52:20	現地試験等の結果が拡充されましたので、
1:52:25	すいません3号炉建設時に現地試験の
1:52:28	結果が拡充されました強度特性については、それを12号にフィードバックすることが、適切だろうと考えて今回見直しております。
1:52:38	また、一部ですねひずみ依存特性等も、12号建設時は考慮できていなかったものについては、物性値が3号と同等であるという確認をした上で、
1:52:48	3号の
1:52:49	時に取得したものを持ってきたということで、大きな考えとしてはそれぞれやった試験結果を使うという考えを持っているんですけども、より適切に、より精緻に解析をしようとしたか。
1:53:01	時には、やはり3号で、
1:53:04	拡充されたデータ等を用いることが適切だろうというふうに考え、
1:53:09	変更を行っております
1:53:18	規制庁の名倉です。今説明した内容は、書いてある内容にもずっとわかりやすく
1:53:25	それが方針なんじゃないですか。大方針。
1:53:29	それが実は大方針が書いてなくて事実としてこうしましたっていうのを羅列して書い
1:53:35	た分56ページ書いてるんですけど。
1:53:37	ちょっとですねそういう意味ではわかりにくいってのはそういう意味で、
1:53:41	その心は何ですかといったときに、心がないんですって答えられてるような今状況なのでちょっとそういう意味で、どう説明したら、今やってることが妥当だということがわかるのか。
1:53:53	その考え方をしっかり説明してください。
1:54:06	56と、そうですね変更したところが6263に書いてるんですが、
1:54:12	ちょっと

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:17	56 で、ドイオオモの方針があってさらに 62 でどうしたのかということがわかるようにですねちょっと記載は、
1:54:26	検討させていただければ。
1:54:28	さらに言うと、
1:54:35	56 ページでね、何か最初に言わなきゃいけないことは 12 号炉と 3 号炉で、
1:54:42	違う物性値を使うんですよ。
1:54:44	という説明が入ってこないと、何かよくわかんなかったというのがあるのと、
1:54:50	結局じゃあどの範囲でどれを使うかっていうのはこれもうなくて、
1:54:54	57 ページで、
1:54:58	言ってるのはもうX、
1:55:01	X、XY断面、
1:55:03	これも全部、3 号炉を使いますよってということなんですよ。
1:55:07	なんかねこの辺の関係がねとてもわかりにくかったなって思うんですけども、ちょっとその辺は、
1:55:14	うん。
1:55:15	また、
1:55:18	どうしたらわかりやすくなるかっていうのを考えてもらったらいいかなって思いつつ、
1:55:22	でね。
1:55:24	ですよよくわかんない 60 ページで、
1:55:28	60 ページでねこれ 12 号解析用物性値。
1:55:33	杏アガワ 3 号炉解析を物性値をしようと。
1:55:36	というここに書いてるってことは、
1:55:39	そもそも 3 号炉で安山岩っていうのを初めて見つけて、
1:55:43	初めて試験して、
1:55:45	ここを 12 号炉に反映した。
1:55:48	ですよ。
1:55:49	なんかその辺のお話が、
1:55:52	どこにも書いてなくてわかんなくて、さらにこの高 60 ページでは、
1:55:57	許可 12 号炉許可既許可んから変更を行った解析物性値にこの安山岩のところ丸々、
1:56:06	ハッチがかかるんじゃないですか。
1:56:10	北海道電力の瀬川です

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:12	そうですね。タッチの種類としては、変更を行ったというよりもある意味新
1:56:17	です。
1:56:20	はい。ちょっとその説明が漏れていたのかなと。
1:56:26	うん。安山岩も全く同じ物性値になってくるよ。
1:56:30	ね。あれですよ。ねここで書いてる 60 ページにハッチングがかかっている部分はこれ変えるのが、は、フィードバックするのが適切だろうという、
1:56:41	考えでやっただと。それがきっと 62 ページに、もう少しうまくこう表現されるってことなのかなと。
1:56:48	思いました。
1:56:52	でね、58 ページで、何かふむふむって思って見てたら、
1:56:58	これモリタの話をしてんだけど、
1:57:00	最後モリドどうしたかっていうと、
1:57:04	一番最後の丸でね。
1:57:06	埋め戻し動のモリタじゃない、埋め戻しの分布を踏まえ適切に使用することとするっていう。
1:57:13	言ってるんだけど、結局最後どうしてるんですか、適切に使用するというのはどうなの。
1:57:19	どうなるんですかっていうのをどうどっか見たらわかりますか、適切に使用した結果、ここは。
1:57:26	3 号炉埋戻堂、
1:57:28	の強度が使われてますか。
1:57:32	ガイド電力の嵯峨です。使用する物性値については 57 ページの、
1:57:37	ですね。
1:57:38	II ですね各断面において使用する解析を物性値と記載してまして、
1:57:44	9sec 三名はイワイ出した面で、
1:57:48	出てきます梅本氏については 3 号炉解析用物性値、つまりサンゴを埋め戻しを使う。
1:57:53	という、
1:57:54	ことで、
1:57:56	意味して書いておりました。
1:58:03	あれなんです、58 ページでは、
1:58:06	ピンク色の
1:58:07	範囲なのかよくわかんないけど、ここ。
1:58:10	12 号埋め戻しとかこっち側はあるんだけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:15	解析ではこれは使わないってことですか。
1:58:18	回答電力セガワすみませんちょっと説明が、
1:58:22	漏れてしまいましたけれども、
1:58:25	第 5 次
1:58:43	は、
1:58:43	北海道大学セガワすみません。
1:58:47	ちょっと断面を、実際に大きい断面でご説明したいと思うんですが、よろしい
1:58:54	93 ページ
1:58:55	お願いします
1:59:01	93 ページでは、こちら減少建屋を通る海山方向に、
1:59:07	タダ断面でして、こちらについては 3 号炉タービン。
1:59:10	建屋より海側
1:59:12	右、紙面で言うと右側にですね、緑、着色した範囲がサンゴ埋め戻しということで分布しており
1:59:20	戻っていただきまして 9911 に今の断面直交する。
1:59:25	方向の XX' 断面、
1:59:27	掲載しております、
1:59:29	ここで、土佐原子炉建屋の周辺については濃い緑でサンゴ埋め戻すと、になりますが、2 号炉タービン建屋、
1:59:37	の周辺につきましては、この
1:59:41	全体範囲を踏まえまして、12 号の埋め戻しを使っていると
1:59:45	使い分けをしてございます。
1:59:49	わかりました。だから 52 ページで、3 号炉解析用物性値を使うと言っておきながら、
1:59:56	なお書きで埋め戻し度は適切に使用するって言って、詳細次ページで説明して 58 ページで、こういう分布になってます。適切に使用します。
2:00:07	ていう。
2:00:08	適切に使用してるかどうかというのは 91 ページまでいかないとわかんないってことですね。
2:00:13	わかりました。
2:00:16	うん。何かもう少しうまい、うまい
2:00:19	こう説明の仕方がありそうな気がするけど、わかりました
2:00:35	そうなってくると、いや、もっともっと良くわかんないところがあって、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:41	表土は、さっきの絵を見る、見ると確かに3号炉と12号炉の物性値を使うっていう埋戻度の、
2:00:49	色分けはしてあるんだけど、表土っていうのはどうなるんだっけ、旧表土は。
2:00:55	3号炉の断面では3号炉。
2:00:58	目標ってことに、梅本志田だけが、
2:01:02	ちょっとこの、
2:01:04	57ページの表って書いてるのは、
2:01:07	違う。
2:01:09	ここのまんまで読めない。
2:01:11	使い方をしているのは埋戻しだけってことですかね。
2:01:18	今ちょっと、
2:01:19	あれですね北海道電力の清ガス59ページに3号炉解析を物性値ということで、
2:01:26	岩盤表土及び埋め戻すと。
2:01:28	期待してまして。
2:01:29	岩盤のほかに、表土埋め戻しど、この値を使いますという、
2:01:34	はい、兵庫です。
2:01:36	この下の方に表土と埋戻とも、
2:01:39	同じ表に掲載してまして。
2:01:41	先ほどとはイワイ'断面出てくる表土についてはこのサンゴ表土を使うという
2:01:47	考えでおります。
2:01:49	緊対所の方の、
2:01:50	緊急時対策所の本断面A' やっぱりB'断面については、
2:01:54	12号炉、
2:01:56	の、
2:01:56	物性値ということで12号の兵頭。
2:01:58	阿部。
2:01:59	断面出てくるものについては1号兵頭。
2:02:02	12号の岩盤、12号の埋め戻しを使うという考えでおり、
2:02:54	ページ、
2:03:08	なんかね僕、ちょっとう私が来、
2:03:12	これまでヒアリングでちょこちょこ確認したから、
2:03:15	この辺何かややこしくなってるのかもしれないですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:19	何か。
2:03:19	か、こうこう、この強度を使う考えとさっき何か説明して、ここ変えましたよでこうしましたよってという話は、
2:03:28	簡潔に説明してくれたらよくて、
2:03:31	何か各々が 64 ページだとか 65 ページだとか、こういう細かいこう話っているのは、
2:03:41	EQの話が出てくるので 60。
2:03:46	これは、
2:03:47	本編でいるのかなとかちょっと思ったりはしましたけどその辺は、おまかせします。
2:03:57	はい。北海道電力の瀬川です。変更した内容なので論点的な
2:04:02	もののエビデンスということで、本編に掲載してましたが、
2:04:06	掲載を補足にするかについてはちょっと検討させていただければと思い
2:04:10	以上で
2:04:11	はいお願いします。
2:04:13	あとはねえ、ちょっと確認したいのが、
2:04:16	74 ページ
2:04:20	断層っていうオノ断層で強度取りましたって言うてるんだけど、
2:04:25	多分F11 っていうのがすごい大事な今回の評価
2:04:30	なんですけど、F11 ってすごく高せん断強度って、
2:04:36	高い値を入れてるじゃないすか他と比べてね。
2:04:39	多分他のサイトとかで比べてこういうこれぐらいの高さの、
2:04:44	高強度って採用してるようなところってあるんですか
2:04:50	北海道電力の瀬川です。
2:04:53	すいませんちょっと他サイトの、
2:04:55	断層なりシームなり、
2:04:56	と直接せん断強度比較はしたことは、
2:05:00	ない。
2:05:04	いいですよ。
2:05:06	であれですかねF11 っていうのは、何か
2:05:16	71 ページを見るとね。
2:05:19	他の他の断層は、
2:05:22	せん断試験をやっていますよ。
2:05:25	せん断試験で求めてんですよね。FrF11 だけは 3 軸なんですよね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:31	その3軸っていうのが資料見ても、なんかあんまりよくわかんなくて、F11、もうもう言葉で言いますけどF11の細粒分を、3軸かけたんですよとかいうような、何だっけ。
2:05:44	細粒分って言った。
2:05:45	ねん。うん。
2:05:46	エンドウ分ですか
2:05:48	ていう説明だけになって、なんかそういうのって、もう少しちゃんと説明が要るのかもしれないんですけども、要するに
2:05:57	手順があるんですよね。その3軸をかける。
2:06:00	で、
2:06:01	なおかつ、何か他の断層等ここだけ高強度が、の出し方がちょっと違ってらる中で、最も何か大きい値が出ている。
2:06:12	ていうのが、
2:06:13	アホ、そういうので問題ないかとかそういう説明って全然なくて、淡々とこう整理されている。
2:06:20	ていうのが今の状況だと思って、何か今、個別に資料作ってくださいって言うつもりないんだけど、F11っていうのはやっぱりそういう
2:06:31	ちょっと他とは、強度が違うようなものだったと。
2:06:35	いうことはいえるんですか。
2:06:47	F11とかF8ってのは3号炉のときに出てきた出現した喜多アノ。
2:06:54	もので、試験方法、
2:06:57	F6までは単純せん断試験をやってますけど、
2:07:02	F81は3軸圧縮試験でやってるっていうのはその時の最新の種最新の手法が一番適切だと考えた手法でやってるといところとあと、
2:07:13	粘土部を選定してやってるっていうのは、強度が保守的なものだろうということ、やっている。
2:07:20	で、
2:07:22	その結果については、先ほど田尾0が少し大きめだねということですけども、
2:07:28	一方で、Φが寝ているといった特徴もあるのでこれ試験結果をまとめた。
2:07:34	ものです。
2:07:35	で、基本的にこれは3号炉の時の既許可から、何らか、データを追加してるとかそういうものではないので、
2:07:45	F81については、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:49	既許可、それからF1、
2:07:52	それから 11 の扱いについてもサンゴの時に 1 回整理をしているので、
2:07:57	具体的には、問題ないと思ってますんで、他のサイトでどういった特異物性かっていうのはちょっと確認をしてみたいと思いますけれども、
2:08:07	基本的に試験データに忠実に設定するのかなというふうに思っています。
2:08:21	ちょっとセガワから少し補足します。
2:08:25	北海道電力の瀬川です。補足説明資料をご覧いただきたいと思っております。
2:08:31	60、
2:08:34	2 ページ、63 ページ。
2:08:38	お願いします。
2:08:44	断層の解析物性値の設定の考え方を、
2:08:47	示しております、62 ページから、3 号炉調査で確認されたF7 断層から F11 断層、
2:08:55	に対して、どのように物性値を設定するのかという考えをまとめたものになってござい
2:09:02	このうちですね試掘坑で確認された断層F11 ですけどして他の断層はボーリング調査ということで、不攪乱試料採取のなかなか難しいというものに
2:09:14	なっております
2:09:15	そこでF11 断層について、試験をやっ、実施してございます。
2:09:20	物理特性等がどういったものになっているかということは、63 ページに記載させていただいております、
2:09:26	粒度
2:09:28	のところなんですけれども、フジイちゃん。いや、やっていますか。
2:09:32	断層。
2:09:33	泊のサイトの中に認められる断層の中ではソリュ
2:09:37	な特徴があるというふうに認識しております、一方、12 号で確認されたF-1 断層については最も細粒であったり、他のF2 からF、F6、またF7、F9FGはややソリュ、
2:09:50	こういったところの、物理特性の違い等も強度に影響してるんじゃないかというふう
2:09:55	考えております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:57	そういった分析をした上で、今のですね解析を物性値断層ごとに取りまとめるという、
2:10:03	整理を3号建設時にさせていただいております
2:10:09	以上です。
2:10:13	はい。
2:10:15	これあれか。センター試験っていうのは一面せん断単純せん断ここでも、物、室内試験なんですね。
2:10:22	北海道電力の生活。はい。丹治センナ試験、室内試験でございます。
2:10:30	で、何か不攪乱試料の話が出たけど、ただこれあるよねF11も別に不攪乱でも何でも無いよね。
2:10:38	F11月に試掘坑で認められますのでそこ。
2:10:42	サンプリング
2:10:44	できているというふうに、
2:10:46	考えて
2:10:48	あれだけど、細粒分で試験やったんじゃない。
2:10:56	細粒分をコウ。
2:10:57	抜き出してやったんじゃない。
2:10:59	いやなんかねその辺がね。
2:11:01	よくわかんなくて、
2:11:06	わかるようにしてもらえた方がいいんだけど、ちょっとこれは、
2:11:11	うん。
2:11:18	北海道電力泉です。ちょっとその呉と、サンプリング呉のしか、どこで撮ったそれから、この性状が何を意味してるのかっていうところも含めて、
2:11:29	この性状、今申し上げた性状っていうのは、サンプリングした後の分析結果ですのでどういったところに着目してサンプリングしたとか、そういう考え方もあると思いますがちょっと確認します。
2:11:39	はい。
2:11:41	確認して、必要に応じて記載します。
2:11:44	なんかね一応ガイドでは地盤パラメータの設定にあたっては、地盤材料の物理特性及び力学特性における異方性、不均質性不連続性等の影響、
2:11:55	試験結果における資料だとそういうことをコウなんか、
2:11:59	不確かさを適切に考慮してさ。
2:12:03	てされていることみたいなのかい。
2:12:05	これ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:06	確認していく必要がある。
2:12:08	かなと思って
2:12:11	あとはね、75 ページから支持力の話になるんですけども、
2:12:17	何か
2:12:21	ここで本当 2、75 ページ 76 ページで支持力の評価基準値をこうしましたってところまで言っちゃっていいのかなって言っていいのかなというか、
2:12:31	これって結局最後に、
2:12:35	何だっけ。
2:12:36	評価代表施設を選んだときに、その断面に出てくる地盤に対して、
2:12:42	評価基準値があってっていう話をするのであれば、
2:12:45	ここで、まだここでは、
2:12:49	どこの断面にどういう
2:12:52	基礎があるのかわからなくて、ただ単にあれなんじゃないですか、この。
2:12:57	極限支持力がこうなってますよっていう話がここにあって、
2:13:03	基準支持力の評価基準値っていうのは、ここで定義しなくてもいいのかなっていうふうに思ったし、
2:13:12	細かくここでされると、安産が 1 と 3 の評価。
2:13:16	何で 2 の話がないのかなとか。
2:13:20	76 ページだったら、C、
2:13:22	C級の話のコウ、
2:13:25	一生懸命してるけど実はこれなんか 1、
2:13:27	他にもいろいろとってるんですよ。
2:13:29	C級以上はこういう値になるんだっていう話なんですよ。
2:13:33	なんかね分けたほうが僕はわかりやすくなって思ったんです。ここでいきなり評価基準値って言って、
2:13:41	出されてもねえっていうのは、思ったと。
2:13:44	所。
2:13:46	はい。北海道電力の瀬川です
2:13:49	おっしゃる通りですねここ解析を物性値という章立てになってるんですが、
2:13:54	この極限習熟は、インプットデータというのも、アノcriteria側に来る、評価するときの指標、評価基準値が異になりますので、
2:14:02	ちょっと掲載箇所については、
2:14:04	検討させていただきまして評価結果のところとひもづく形になります

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:08	ってのは、対応となる。
2:14:10	ようにしたいと思っており、
2:14:12	そうですね。なんかその辺を、何か途中でつまづかないようがいいよな。説明してることはね、同じなので、
2:14:20	あと、
2:14:21	なんかね地下水とか液状化の話が次に出てくるんだけど、
2:14:27	これがねなんかね液状化を考慮するとかいうのが最初出てくるのはどこですかねこの辺りで。
2:14:47	なんかねこれもさっきの森園強度を設定するんと一緒に、
2:14:52	液状化を考慮します。
2:14:54	地下水のも、
2:14:56	話がこう出てきますって、
2:14:59	結局液状化をどの範囲で、
2:15:02	どう考慮したのかっていうのが、なかなか行き着かないんですよ。
2:15:07	要するに地下水の設定の話とセットで、この範囲は液状化する、液状化を考慮するってあれでしょ。
2:15:15	考慮するっていうことは、全部液状化するものとして考えたって意味で、考慮するって言うてるってことでいいんですかね。はい。北海道電力の瀬川です。32 ページの 40、
2:15:28	ネットです。
2:15:30	記載はさせていただきまして、
2:15:32	液状化の影響を考慮する必要がある場合、
2:15:35	安井一心の埋め戻し等等については、液状化範囲を設定し、液状化による影響を考慮した滑り安全率を算定すると、方針を述べてまして、
2:15:44	34 ページに具体的に、滑り安全率算定において、液状化をどのように考慮するかという、
2:15:51	ものとしてます。
2:15:52	で、実際の地下水がですね地表面設定になりますので、
2:15:58	すべての
2:15:59	埋め戻しについては、液状化を考慮した滑り安全率を算定している。
2:16:03	いったことになり、
2:16:07	そういうことなんだろうと思い、思いながら、
2:16:11	それが資料見てて、
2:16:14	なんかよくわかんないすよ。いやだから、地下水、
2:16:19	地下水より、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:22	地下の地下水より、
2:16:25	約くるところは液状化を考慮する。
2:16:28	設定はせ範囲を設定して、液状化を考慮するって言って、
2:16:34	範囲をどう設定して、
2:16:38	シンプルに言うともう液状化するものとして考慮しましたっていう、液状化するものとして考えたんです。それは地下水は地表面に、もう設定してるから、
2:16:51	この場合は 10 メーター
2:16:53	全部液状化するんですよっていうこうなんかシンプルな話なんだと思うんだけど、
2:16:58	なんかねその中で、何か 33 ページの話が出てきて、
2:17:03	何かこうこれをもこれに、
2:17:06	いやわかったんすよ意味はわかったんですけども、
2:17:10	確認にあたってはこれを、
2:17:13	定常的な地下水分布を参照した。
2:17:19	とかですね、間にこういうのが入ってくるから、
2:17:22	すごいわかりにくいですよ。だって、33 ページはこれ何を説明するかっていうと、
2:17:29	水位が上がるかもしれないよって言うてるわけですよ。
2:17:32	ここの水位と別に液状化の範囲を設定する水位とは全然コウ繋がらないですよ。でもなんかね、それがね。
2:17:44	なんかよくわかんないすよこれ読んでいく。
2:17:47	もっとね、ちょっとシンプルに説明して欲しいし、33 ページの絵っていいんです。この、
2:17:54	33 ページのえって、
2:17:58	この防潮てって、
2:18:00	いつ、
2:18:01	今の、
2:18:03	計画の膨張底が入ってるんですけど。
2:18:08	北海道電力の瀬川です。今の、
2:18:11	今野というのが新設する防潮てが、
2:18:15	この 1
2:18:17	定された場合という
2:18:21	推定
2:18:22	防潮堤外地

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:37	はい。佐口さんおっしゃる通りで
2:18:50	はい。北海道電力の瀬川です。基礎地盤においてはその考えであります。
2:19:13	規制庁の名倉です。
2:19:16	これもいろんなところバラバラと書いてあるので、
2:19:19	一連のものとして読めないから次、実際どうなってるんだらうっていうのがわかんなくなっているんですけど地下水の設定と、
2:19:29	その地下水の設定も踏まえた領域の中でどの領域の埋め戻しと、
2:19:35	もう10円盤のところすべてなんだと思うんだけど後はそれより下のところも含めて、
2:19:40	だから地下水の設定って、地表面、私に分かんなかったのはすみません
2:19:45	そういう意味で海側、防潮等より海側はどういうふうに地下水位設定してるんですかっていうのが、
2:19:55	100ページのところはあくまでもこれ10円盤のところしか書いてないですよ
2:20:01	すいませんここだけちょっと教えてもらいます。地下水の設定は膨張ての外側はどうなってるんですか。北海道電力の瀬川です。防潮ての外側についても地表面設定。
2:20:12	で、
2:20:13	一番、この
2:20:15	観点、
2:20:16	計算は
2:20:17	やる予定です
2:20:21	規制庁名倉ですわかりました。
2:20:25	何かそういったところもちょっと含めてですね。
2:20:30	液状化の影響を考慮するっていう34ページの説明が、
2:20:35	じゃあどの断面とどの施設でそういうふうにするのかってさっき佐口の方からもありましたけど、
2:20:40	うん。そこら辺が何か見えてこないの、ちょっと何か、
2:20:44	うまくまとめてどっかに書くようにした方がいいんじゃないかなという。
2:20:50	ちょっと最初に評価方針っていうところが大分言っていてですね。
2:20:55	そこんところちょっとどこの箇所でどう説明するのかっていうのを少し工夫していただき、
2:21:24	一条スズキですけどちょっとその、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:27	液状化とか地下水分布の話って、何か資料のいろんなところにちょっとずつこう出て、
2:21:33	ね。
2:21:33	諸室が 24 ページなのかな。
2:21:36	24 ページで初めて、
2:21:38	液状化、例えばなお書きの二つ目このため、
2:21:43	膨張て設置後における地下水排水は機能しない何とか何とか定常分布を踏まえ、
2:21:48	10メートルがいいかって言ってここにまた米が小さくってあって、
2:21:52	ここで設置
2:21:54	変更許可段階において、3次元でも何か何とか解析を実施して、何か過去にやったのかなと思ったら今話を聞けば、まさしく今回のこの設計、
2:22:04	今のまさしく審査申請の中でやってるって話で、
2:22:08	ちょっと時点が非常にわかりにくいな置いといて、
2:22:11	ここにも出てきてですね。
2:22:13	なんか、当時の去年の6月のプラントの会合なんですかね。
2:22:18	ね、何か補足説明。
2:22:20	資料に書いてありますとって、
2:22:23	補足説明資料の215ページを見ていくと、
2:22:26	何か書いてありますねと、地下水の設定方針、
2:22:31	以上を踏まえとか、何かいろいろ解析をして、
2:22:35	やってるんだと以上を踏まえ、
2:22:38	設置許可段階で安定性評価が要求される基礎地盤なんか周辺斜面については、
2:22:45	設計地下水位を地表面に設定する。
2:22:49	とって、何かこっちに飛んで細かいことが書いてあるかなと思ったらまた※1に飛んで、詳細は基礎地盤周辺斜面の安定性の審査で説明しますって、何か補足に富んだのにまた補足から本体に差し戻されて、
2:23:03	どうあれどで、その先どこに行くんだってって何もなくってってうかですね。
2:23:08	非常に何か補足に富んで、
2:23:11	耐震設計方針時に説明しましたと言って飛ぶと、また、いやそれは後で説明するんですってって何か戻されるとかですね。
2:23:19	非常に何かわかりにくいかな。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:22	補足 216 ページもなんか設置許可段階これはねプラントの話なんで、 設工認、基本設計と詳細設計の話があって、
2:23:31	防潮で設置後の何か地下水を確認して、
2:23:35	コア、基礎地盤周辺斜面及び原子炉建屋塩瀬以外については、
2:23:40	ついて地下水の設定方針を決めます
2:23:44	っていうんでこの辺も
2:23:45	どこまで何かこの、
2:23:47	プラントの時の説明資料を参照してるのかも。
2:23:51	何かよくわからない。
2:23:57	そうかと思えば、次の 2A と本体に戻るとまだ 26 ページにも地下水の話 が出てきて、地下水についてと丸三つ目ですかね 3.5 評価をし、
2:24:07	地下水については、これは何か保守的に地表面に設定と言ってるん で、何かさっきは、液状化の時には 10 メートル盤以下、
2:24:16	だけが、
2:24:18	土肥木地オオオカシマウチカセによって影響を考慮します
2:24:22	ただし、
2:24:24	地下水位は、これは何ですかね、緊対所とかも含めて、
2:24:30	全部、地表面に
2:24:32	設定。
2:24:34	する。
2:24:35	ですよねなんか地下水分布あんまり関係ないってところがあった り、
2:24:39	この辺がねいろんなところに飛んだり、当時の資料に、
2:24:43	プラントで説明してますって資料に飛んだかと思えばまた戻されたりして て、
2:24:47	何か考え方がね、分散しているし、
2:24:50	当然液状化と地下水の水位の設定と液状化をどこまで、どの範囲は、 液状化を見ますかっていうので多分考え方が違って、
2:24:58	そこの差分も何かよくわからない
2:25:01	非常に資料の中で混乱するんで、
2:25:06	はい。
2:25:39	そうですね、はい。
2:25:41	わかりました北海道電力泉ですはい。
2:25:44	はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:25:54	北海道電力和泉です。わかりやすくします。地下水の考え方は、液状化するかしないかっていうところに考える地下水の考え方それから、
2:26:06	安定性評価をするときに、の地下水の考え方っていうところがあるので、地下水って言うてもあちこちに出てくるとちょっとわかりづらいというところがあるので、
2:26:19	具体的な評価にあたってのところに書くとかですね、もう少し
2:26:24	実際に何、何をここでは何を設定してるのかっていうのがわかるような記載をちょっと、
2:26:30	検討します。ちょっとわかりづらいという趣旨は理解いたしました。
2:26:40	あ、傾聴すべきですけど、仮にプラントの資料、こう出すんだと。
2:26:45	と。
2:26:47	今多分あれですかね 6.3 の評価方法、本編だと 170。
2:26:51	多分こういう、この地盤斜面の評価でこういう扱いにしますこういう項目でこういう扱いにしますって言ったときに、ちなみに、耐震設計方針の方でも同じような考え方でこうやってますって、
2:27:02	そこから飛ばすんなら何かわかる。
2:27:04	元入口から、耐震設計方針でもこうやってるんですよ。それと同じなんのでいいでしょうっていうふうな、
2:27:10	論理はちょっと私もよくないか。
2:27:13	わけじゃないと思います。だけど、今、今の説明だとそのようにしか読めなくて、もうこの本編の 170 ページも、
2:27:20	米
2:27:21	なんか耐震設計法地震による損傷の防止において、もう説明済みです。
2:27:26	ていう、この米印も明らかに、これは申せ、1 年前に説明してるんですけどかっていう、
2:27:32	何か聞きましたっけそれ、いやそれはプラントの方です。
2:27:36	この米印もね、あんまりよろしくないか。
2:27:38	そう細かい。
2:27:40	そうですね。はい。
2:27:42	はい。北海道電力和泉です。まずこの資料の中で地盤斜面の評価として、こういう考え方で設定したと。
2:27:49	例えばそれはすでに説明してるプラント側の考えと整合してるとか、いうような、書くとしてもそういうような表現がいいと思いますので、ちょっとそこは再考いたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:28:02	規制庁の名倉です。簡単になってしまうと液状化の影響を考慮する。
2:28:06	地盤面とかそういったところの選定ってのはどうしてどういうふうにしたかっていうことの方を変えてもらってその根拠については施設側で評価している地下水の分布、
2:28:17	活用してます。
2:28:19	ということだと思ってるので、考え方としてこの。
2:28:22	次、ハザードはどういうことを設定を、どういう考え方でどういう設定をしたのかってことを書いてもらって、
2:28:30	そのエビデンスとして引用するとか、ちょっとやり方を工夫してもらえればいい。
2:28:54	はい。北海道電力泉です。はい。
2:28:57	わかりましたそういう、
2:28:59	少し不適切なところはチェックして、
2:29:02	適正化したいと思います。
2:29:12	ちょっと一言申し上げておきますと我々決してそういう思いで記載したわけではないんですけども、結果的に読む側がそういう印象を持つちゃうということ、
2:29:24	等もありますので、申し訳ございませんそういう意図ではなかったんですけども改めて再考したいと思います。
2:29:32	すいません。
2:29:55	どんどん聞いていきます。
2:29:58	私聞きたかったのは 125 ページ
2:30:09	最小滑り安全率が 2.1 になってるところに、
2:30:15	マルつい資格がついてて、
2:30:18	地盤が 2.15。
2:30:24	X断面の最初安全率がここで、
2:30:27	2.1 っていうのは
2:30:29	これって、うん、5 番って、
2:30:33	何か解析。
2:30:35	こんなん
2:30:35	解析区間の一番端にこう出て、
2:30:39	きますよね。
2:30:41	それが、
2:30:42	最小滑り安全率なるってことになる、
2:30:46	これ解析。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:30:48	区間が、
2:30:50	もっとう、
2:30:52	幅があれば、
2:30:55	安全率ももっとう低くなるかもしれないとか、そういう目で見ると、ここの辺の考え方って、
2:31:03	どういう考え方でここまで見とけばいいとか、ここに端部抜け抜ける部分を持ってきておけばいいっていうような、
2:31:12	そういう考え方って何かあるんですっけ。
2:31:19	はい。北海道電力の瀬川です
2:31:21	解析領域の考え方につきましては、
2:31:25	J-R。
2:31:27	等です。ね基礎底面幅の2倍以上速報、2002.5倍以上という、
2:31:34	考えがありまして、それより広く取った領域、
2:31:38	ともモデル化しております。
2:31:41	この断面については、
2:31:44	F11断層が、
2:31:46	分布しておりますので、
2:31:48	F11断層、
2:31:49	に向かってパラスターする際にですね、解析領域から、
2:31:54	やる必然性というところで言いますと、土塊がある意味大きくなると
2:32:00	観点で、
2:32:02	設定をし、
2:32:03	いただいております、
2:32:07	もう少しすいません、
2:32:10	思いつきで確認してるようなここ、ここの抜けるところに、何か古地形の変換点があるとかそういう。
2:32:18	場所ではない。
2:32:19	です。
2:32:21	はい。ただ、
2:32:24	ナンバー5については、
2:32:27	モデル端部ということで、
2:32:28	実際には建屋の影響を受ける領域かという、
2:32:34	かなり離れてますので、あまり建屋の影響を受けていない。
2:32:37	ですが、
2:32:38	そういう絞り込みをせず、周りに

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:32:40	機械的ではないですけども、滑り線を
2:32:44	広い領域で設定して安全率を、
2:32:47	イシタと、
2:32:48	わかりました。いや要するにこの 2.5 倍の以上のところを取ってる範囲で、最低の安全率になりますよっていう、そういった説明になるってことです。
2:32:58	で、その範囲は、弱とかを、
2:33:02	見ている、設定してるんだから、
2:33:04	せ検討方法が適切なんだってそういう話です。
2:33:10	アリマ
2:33:12	であとさ 122 ページ。
2:33:16	これ、
2:33:18	解析に用いる入力地震動は解放基盤表面で定義された基準地震動、これ基準地震動
2:33:26	を二次元有限要素法を用いて、
2:33:30	キタニ、
2:33:31	コウ引き戻す。
2:33:33	入力地震動モデル型に、
2:33:36	これ二次元有限要素法を用いてやってるんで、
2:33:41	はい。北海道電力の瀬川です。建設時の評価、評価からですねこういった 2 次元で、泊はやっておりましたので今回もそれを踏襲しており、
2:33:59	他のサイトはですね 1 次元でやってるサイトもあるというのは、
2:34:06	ガイドでも 1 次元、また 2 次元という記載がありますので、2 次元でやること自体は問題ないといえますか。
2:34:12	間違っていないかなと。
2:34:14	認識
2:34:16	を終わります。本当にこのままなんですね。わかります僕
2:34:20	地形の
2:34:22	形を除いたのを 2 次元で、
2:34:25	の話をしてるのかと思ったら、そうじゃなくて地形を除いたコウの形で、しっかりと二次元の
2:34:33	断面で、
2:34:35	下げてるってことですね。わかりました。
2:35:00	じゃあ断面ごとに入力地震動が違ってることをこのモデルに入れる。
2:35:07	はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:35:08	北海道電力長谷
2:35:10	それ、そうですね断面ごとに、
2:35:12	1次元の場合でも、多分、
2:35:14	達成されると思います
2:35:15	その断面の地質、
2:35:18	全部構造に落ちた。
2:35:20	入力地震動が策定されると思っており、
2:35:38	は、事実か
2:35:42	これーそ
2:35:44	は、
2:35:44	だから、今の地盤モデルなりにもう物性値が入ったモデルで入力を求めている。
2:35:50	ということで、
2:35:52	ていうことは岩盤の構造と同じように、
2:35:56	速度構造が傾斜している。
2:35:58	状況で評価してるっていう、そういうそういうことで、
2:36:03	はい。北海道電力のセガワで
2:36:06	おっしゃる通りでして、速度構造設けてるわけじゃなくて岩級依存で、
2:36:11	関係ごとに、
2:36:13	性が与えられて、
2:36:15	地震動を策定しており、
2:36:34	社長の名倉です。
2:36:35	ちょっと質問ですけど 122 ページで、
2:36:38	入力地震動っていうのは、これ、
2:36:50	FEMの外側、
2:36:52	は無限地盤のところを持ってきてる。
2:36:55	ど、どっからどういうふうに持ってきてるこれ。
2:36:59	北海道電力の瀬川です。これは半無限地盤に入力。
2:37:03	しており、
2:37:04	基準地震動が
2:37:06	ここで言いますと原子炉建屋中心で規定されておりますので、それ、
2:37:11	引き戻したものを、
2:37:13	それはですね引き戻したとは言わなくて、
2:37:18	入力地震動は解放基盤表面の基準地震動を再現できるような、
2:37:24	入力を、この半無限地盤 1 で、それを逆解析で求めますという、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:37:30	そういうことですね。北海道電力の瀬川です。おっしゃる通りでして周波数領域の解析でしてそういった形で入力地震動
2:37:39	評価しており、
2:37:42	だから度、入力地震動、ちょっとすいませんそこら辺のやり方ってこれ、
2:37:51	ちょっと何か解説してもらおうとこれよくわかんないですね。
2:38:48	ガイド電力の瀬谷です。一応、概念的なものはですね土木学会 2090 万。よく引用してる技術資料があるんですけどもそちらにも書かれている方法と同様な方法でして、
2:38:59	具体的にはですね、今、図に示してます解放基盤、
2:39:04	表面を取り去った。
2:39:06	2次元モデル。
2:39:07	この基準進捗規定1と、
2:39:10	パターンですねモデル型の入力位置の伝達関数を
2:39:14	周波数ごと算定して、
2:39:16	フーリエスペクトル、
2:39:18	基準地震
2:39:19	それをシェアすることを算定して、
2:39:21	それをまた
2:39:23	伝達関数とフーリエスペクトルで入力地震動
2:39:27	作りましてそれをまた逆。
2:39:28	変換することで入力。
2:39:32	県としてはそうな。
2:40:08	解放基盤表面っていうのは、
2:40:11	緊急時対策小
2:40:14	でも、
2:40:17	持っていけるんでしたっけこれなんか原子炉建屋のところ。
2:40:22	で定義してない。
2:40:25	なんでしたっけ、0メートルのところ。
2:40:29	標高で定義してるんで、
2:40:30	解放基盤機
2:40:32	表面。はい。北海道電力の瀬賀です。解放基盤表面
2:40:37	けども地震動の審査では0メートルということ。
2:40:42	しておりますが、敷地に分布します神恵内層、
2:40:46	つきましては、PS検層等をやってますね、S波速度 700 以上ということ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:40:51	がありますので、
2:40:54	原子炉建屋底面付近の、ELO メーターを解放基盤
2:40:58	基準地震動を策定しており、
2:41:00	この
2:41:01	地盤の安定性評価に
2:41:03	しては、3号炉、
2:41:05	側の方については、原子炉建屋1の2.8
2:41:09	の標高1
2:41:11	を基準地震
2:41:12	区域
2:41:14	規定1規定1としておりまして、一方、緊対所の方はですね、12号側 ですので、12号の原子炉建屋と合わせるという意味で、
2:41:22	EL2.3ということで、
2:41:27	その0メーターと2.8の差分
2:41:30	標高の差分はありますけど、
2:41:33	関係なども
2:41:35	あるようなものではございませんので、入力地震動の策定においては、 大きな影響はないというふうに考えております
2:41:52	はい。北海道電力の瀬川です。土岐。
2:41:55	失礼いたしました。緊急時対策所。
2:41:58	1の緊急時対策所の、
2:42:01	中心位置、
2:42:03	から、
2:42:05	下に下げて、2.3メートル標高2.3メートルの位置を、
2:42:10	基準地震動規定1と、
2:42:25	そうですね、緊急時対策所は緊急時対策所で、
2:42:28	違う。
2:42:29	異なった
2:42:43	はい。緊急時対策推進については、緊急時対策所位置で、2.三名とい う絵を切り取ったモデルで策定して
2:42:53	けど、ちょっとあんまり細かい話をしてもあれなんだけど、これって、僕 の記憶が、
2:42:59	ここの話をこうすると思ってなかったから全然覚えてないんだけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:43:03	解放基盤表面の話をしたときに、0メートルにしますっていう話を僕覚えてるんですよ。それはあくまで3号炉の表、地震動評価をするときに0メートルですって言った。
2:43:15	だけなのかそれとも12号で2.3メートルっていうのも、会合の中で、何か話がしてあってちゃんと定義されてるんでしょ
2:43:25	いや、今更2.3が初出ですとかいって言われると、何か、
2:43:31	うん。
2:43:32	どこまで話が戻るのかなっていう気が、ちょっと確認した、いいんだけども、そんな話をしたんですっけ。00メートル覚えてるんですよ、解放基盤表面って。
2:43:43	何メートルなんで。
2:43:44	はい。
2:43:46	ガイド電力の瀬川ですけども、基準地震動自体は、12号もサンゴ
2:43:51	0メートルで、
2:43:57	だから、
2:43:58	変わる。
2:44:04	減少タテウチが2.3メートル
2:44:09	別入力、ある意味
2:44:11	的な評価ということで、
2:44:13	オカを考えて、
2:44:14	ので、それを緊急時対策所も同じ、2.三名
2:45:13	ちょっと
2:45:15	全然こう頭の体操の話ですけども、包丁で、
2:45:21	じゃあ何断面か検討しますよ。
2:45:23	なったときには、
2:45:26	それぞれの、
2:45:29	ちょっと待って。
2:45:31	それぞれ違うところから、その断面、
2:45:36	ごとに
2:45:38	戻すんですかね、まだその辺はまだ整理はできてない。
2:45:42	北海道電力の瀬川です
2:45:45	頭の体操といいますか、防潮て1におきましては膨張定位置ごとにそれぞれ
2:45:51	決定しますが、防潮て自体がですね海が、
2:45:55	でして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:45:56	敷地が海側にちょっと低くなってますので、
2:46:00	解放基盤面より深い地となって、
2:46:02	膨張性の基底面できて、基準地震動を策定する、浅くて先生
2:46:07	規定するというので考え
2:48:00	を、
2:48:02	すいませんちょっと考えてしまって、事実確認は、
2:48:06	できて、
2:48:08	ちょっとその辺私の方も、
2:48:11	いろいろ資料確認してみるようにします
2:48:48	もうねえ、もう時間。
2:48:50	綺麗なんだけど、
2:48:52	を地殻変動による、
2:48:56	基礎地盤の変形の表を今日、今日これ見て、何かよくわからなかったんですけれども、何か先行サイトと大分違うやり方をされて、
2:49:05	何て言うのかなこれは泊能。
2:49:08	何か特徴があっ。
2:49:10	て、こういうやり方をしているんですかね。
2:49:13	他のサイトで多分、この断層を評価します。もともとこれ地殻変動で、あまりコウするような断層ないんだけど、こういうものが効きそうだからこれで評価しますみたいな。
2:49:25	そういうコウサイトが多いはずなん。
2:49:27	必要、結構
2:49:29	断層はもう決め打ちで、
2:49:31	やってる。
2:49:33	エンドウ。
2:49:34	で、
2:49:35	ソウノ断層も、おそらく地震動評価で使ってるような地殻変動に効くようなもの。
2:49:44	選んで、それをこう見ますよっていうような流れってやってて、
2:49:49	前からちょっとわからなかったんですけど地震動津波評価の最大ケースだとかコウ水の最大ケースだとか、
2:49:59	サイトウ
2:50:01	さ、下降側の最大ケースだとかここまでの話を、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:50:05	スルーのが、何かちよつとこう、まだ僕はついていけてなくて、何かあるんですかねこの泊サイトは他のサイトとはちよつと違う特徴があるんですとか、ここまで、
2:50:17	地震と津波のコウモデルも、
2:50:20	考えなきゃいけないんですとかいう、
2:50:22	そういうのある。
2:50:23	こういう検討なつてんですか。
2:50:25	北海道電力の瀬川です
2:50:27	至近の、
2:50:29	サイトウ参考にさせていただいて島根さんも同じ
2:50:33	かなと思つており
2:50:42	地震動と津波をですねパラメータ比較した上で、厳しいほうでやるという扱ひ。
2:50:47	で、
2:50:50	検討を実施しており、
2:51:08	あれですか、泊独特の郡事情とかいう話じゃない。
2:51:14	で、さらにいうところの、
2:51:16	検討用地震は全部やつてますつて、
2:51:19	いうのも、
2:51:21	別にこれも泊独特の工事場とかでもない。
2:51:26	北海道電力の瀬川です。
2:51:28	はい。
2:51:29	検討地震については漏れなくすべてやりまして実際やつてみたところやはり、
2:51:35	傾斜が小さいものがあるなというふうには思つており、
2:51:38	アリマ
2:52:03	すいません
2:52:06	各変動。
2:52:08	今回の基礎地盤周辺斜面の3ページ。
2:52:12	今回の説明範囲つてところで、
2:52:15	ちよつと何か順番が、
2:52:17	第5章が、これ、
2:52:21	1、
2:52:21	点破線になつてて、
2:52:24	他の点線等、何か

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:52:27	3種類あるんですね今回の説明と今後説明予定が2種類あって、
2:52:32	ここだと何か基準津波の評価が完了次第説明予定となっていて、
2:52:39	今回だからこれ変
2:52:42	系のやつも、
2:52:44	何か変わり得るんだけどとりあえず現状版を説明してますって話なのか。
2:52:50	コウのこの設営で、
2:52:53	基準津波の評価が完了したので、
2:52:56	その基準が策定できたかは別にしてですよ。
2:52:59	1オオノは、今回の地盤の変形に必要な限りにおいて、
2:53:03	この津波の方の評価が完了したんで説明し、
2:53:07	資料を作って持ってきました
2:53:09	いう話なのか。
2:53:10	今後もまだ変わる可能性があるんですけど、
2:53:13	現状版です。
2:53:15	これはどういう扱いになるんですかねこれ。
2:53:19	今回説明範囲になる。
2:53:25	なぜかという、先ほどのスケジュールの面談の時には、積丹半島の津波は、
2:53:31	急ぎませんので、次回にまわしますって言っていて、それと今回との関係どうなんですかという話ですね、あれは急がないのでっていう、
2:53:39	言ったので、
2:53:41	音でいや実はそれがそれが終わると。
2:53:45	このなんか地殻変動の方のナカ先ほど津波のモデルを使いますと言ったんで、それで積丹半島の方の地殻変動の方が
2:53:55	それに引っ張られて、それが引っ張られて、
2:53:58	それ、自治会に成分で、こっちが固まってません。だから、
2:54:01	地盤斜面のうち、
2:54:03	防潮堤外のなんだけど、これは、
2:54:06	今後説明というグループになってるんですけどっていうそういう関係性なんですか。
2:54:10	はい。北海道電力、泉です。先ほどの議論が関係してるかという、そういうわけではないです。
2:54:18	いずれにしても

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:54:19	積丹含めパラメーターが各期ツツミ側で確定していないものがあるというの、現在の実態ですので、
2:54:28	現在の暫定的だというか、今、これから説明しようとしているものを、
2:54:35	のパラメータを使って、今、計算をすると、こういう状態、こういう結果になりましたって、
2:54:43	という位置付けになってます。これまでは、津波が確定してから、やるという位置付けだったんですけども、
2:54:53	追加の資料を今日持ってきたと。
2:54:57	いうところになります。
2:55:01	ごめんなさい。
2:55:03	基準津波
2:55:33	9番、
2:55:42	はい。
2:56:01	ただこの
2:57:14	規制庁都築です。一応それぞれ、
2:57:17	ミナミ評価の方と、
2:57:19	予定の方、設計の方と一応どういう関係性になってるのかは、
2:57:23	はい。
3:01:59	はい、えっと、
3:02:01	ちょっとこの辺も終わりですね。
3:02:03	お考えはわかりました。お考えはというか、先行サイトの関係とかで、
3:02:11	はい。
3:02:15	多分いろいろこう皆さん確認したいこといっぱいありそうなんですけど、
3:02:20	細かいとこいうと、
3:02:22	まだちょこちょこあるんで
3:02:25	大分してて、
3:02:29	また若干変わるようなと
3:02:32	あるところを確認したかった
3:02:35	ある。
3:02:36	何か今日今日聞いておきたいこと。
3:02:39	ぜひとかいうのがあれば、
3:02:41	質問してもらおう。
3:02:42	で、
3:02:46	はい、お願いします。
3:02:49	規制庁佐口ですけど、ちょっと1点だけ教えていただきたいのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:02:53	解析要望設置のところなんですけど、
3:02:56	これ、
3:02:58	MMRってどれぐらいの物性値な
3:03:04	M、MMRというのはどれぐらいの後精緻なんでしょうかという、
3:04:04	北海道電力の瀬川です。失礼いたしました。
3:04:08	99 ページ、お願いいたします
3:04:11	NMRにつきましては、
3:04:14	物性値としてですねモデルには設定しております、
3:04:18	51 メーター倉庫車庫。
3:04:21	の、
3:04:23	イシタ。
3:04:24	にあります。
3:04:25	こちらの強度ですけども 18 ニュートンの設計基準強度。
3:04:29	の物性値を設定しておりますが、直接ここ
3:04:32	今、切るような、
3:04:34	滑りってというのは、評価していないものになって
3:04:37	以上で、
3:04:42	すみません、北海道電力の志賀です。資料には特にこの強度が、
3:04:46	聞くものではないと考えておりましたので物性値一覧の方には掲載して ございました。
3:05:04	はい。規制庁佐口です影響というのが何か聞くとか聞かないとかって今 お答えありましたけど基本的に物性値と、
3:05:13	して、解析に用いているものであれば、当然それは成功サイト含めて多 分すべてのサイトで多分載っていると思いますので、
3:05:21	これあの数値はですね、きちんと一覧表で載せておいていただきたいと 思い
3:05:26	はい。北海道電力泉でございます。解析に使用したやつは使用した物 性値がわかるように、
3:05:32	資料に掲載いたします。
3:05:58	既設の名倉ですけど、
3:06:00	135 ページですよ。
3:06:02	滑り線取ってません、MMR、
3:06:07	北海道電力の瀬川です。135 ページはですねMMRを貫通しない。
3:06:13	スリッドなっていると。
3:06:15	考えておりますすみません確認させていただければと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:06:20	うん。なんかMMRが大分抑止効果でこれ聞いているように見えちゃう。
3:06:26	北海道電力の4月。一応ですね、このMMRの下にF11断層F1断層がございまして、基本的にはF-1断層を通過して緊急時、
3:06:36	対策所指揮所に、
3:06:38	抜ける滑り面を想定しておりますので、そのMMRの強度に期待した滑りにはなっていないと考えておりますが、ちょっとすいません詳しく確認させていただければ。
3:06:51	いずれにしても、解析で使ってる分センチについては効かないにかかわらず、
3:06:57	これはちゃんと表示しないといけないもんだと思いますので、
3:07:01	そこら辺今日動特性とかどういうふうにしてるのかということも含めてちょっと、
3:07:08	書かないと、今までのサイドも確か書かせているので書いた方がいいんじゃないかなと思います。
3:07:16	はい。北海道電力の瀬川です。MMRの物性値について記載させていただきます
3:07:21	以上です。
3:07:40	規制庁谷です。
3:07:41	もうね
3:07:43	ちょっと時間が大分オーバーしてるんで、これでヒアリング終わりたいと思います。
3:07:47	どうもお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。